

VII 茨城県神栖市波崎

1-1 神栖市の概観

◇位置

茨城県の東南端に位置し、利根川をはさんで千葉県と接している。東京から100km圏内、成田空港からは約30km。

◇面積

147.26 平方 km

◇人口

36,459 世帯／94,511 人(平成24年12月1日現在)

◇主な産業

北部から東部一帯は鹿島港及び鹿島臨海工業地帯が整備され、鉄鋼、石油、化学を中心とした日本有数のコンビナート群を形成し、素材作業を中心とした工業都市となっている。

◇交通機関

市内を走る鉄道はなし。路線バスのみ(関東鉄道バス)。

市役所の最寄り駅は、JR成田線小見川駅、JR鹿島線潮来駅、JR鹿島線鹿島神宮駅。それぞれの駅からバスに乗車。

1-2 神栖市の震災被害と復興状況

◇被害状況(日付はすべて平成23年) (付・人口動態)

(1) 人的被害・避難者の状況

① 人的被害

区分	人数
死者	0人
行方不明者	0人
負傷者	6人

② 避難者数

月日	避難所	人数
3月13日現在	41か所	8,615人 ※最多時
3月31日現在	2か所	113人(平泉コミュニティーセンター、うずもコミュニティーセンター)
5月9日現在	1か所	8人(平泉コミュニティーセンター)
5月22日現在	閉鎖	

(2) 家屋の被害状況

① 災証明の受付件数

・受付件数 → 5,990件 (8月31日現在)

②住宅被害認定調査

・被災した家屋の判定件数 → 5,392件(8月31日現在)

判定結果	居 宅	居宅以外	計
全 壊	139	10	149
大規模半壊	592	32	624
半 壊	1,130	73	1,203
一部損壊	3,185	138	3,323
被害	81	12	93
計	5,127	265	5,392

(3)液状化による被害状況

①液状化の状況

・特に被害の大きかった地域

→ 堀割、深芝地区

(面積:約153.9ha)

②り災証明の判定結果

・被災した家屋のうち、液状化被害の件数 → 1,658件(8月31日現在)

判定結果	件 数
全 壊	115
大規模半壊	420
半 壊	581
一部損壊	526
無被害	16
計	1,658

(4)道路の被害状況

3月12日現在	・被害箇所数約200か所、通行止め6か所
3月15日現在	・道路被害箇所について、応急的に修復終了
7月 2日現在	・約500路線、約78キロメートルで被害あり (隆起、亀裂、陥没、破損等)

(5)農業の被害状況

農地の液状化	・賀、知手中央、太田など市内各地区において、水田等に液状化を確認
水路	・破損 (108箇所 54,782m)
揚水機	・破損 (28箇所)
農業用道路	・亀裂、破損等 (12箇所 1,288m)
神之池	・津波により、海水が流入 →塩分濃度が高くなり、農業用水として不適 ・常陸利根川から水を汲み上げ、4月9日から排水ポンプを設置し、鹿島港へ排水

市内の地域別被害状況は以下の通りである。神栖エリア(特に西部の堀割、深芝地区)で

は液状化の被害が大きかった。

	住所	津波浸水被害	液状化被害	道路被害
1. 神栖地域の西部	鱒川, 堀割, 居切, 下幡木, 筒井, 賀, 深芝, 深芝南, 平泉, 平泉東, 神栖, 大野原, 息栖	太平洋沿い、鹿島港沿い	太平洋沿い 市街地 水田	隆起、亀裂、陥没、破損 (国道124号沿い)
2. 神栖地域(市役所～利根川沿い)	高浜, 石神, 萩原, 田畑, 木崎, 溝口, 知手, 軽野地区	太平洋沿い	市街地 国道 124 号沿い	
3. 神栖地域の東部(知手～横瀬), 柳川	日川, 横瀬, 知手中央, 奥野谷, 南浜, 知手(海岸), 柳川, 柳川中央	太平洋沿い	水田	陥没
	住所	津波浸水被害	液状化被害	道路被害
4. 波崎地域の西部(太田～矢田部)	太田, 太田新町, 砂山, 須田, 若松中央, 矢田部	太平洋沿い	国道 124 号沿い	陥没
5. 波崎地域(土合など)	矢田部, 土合	太平洋沿い		
6. 波崎地域の東部		太平洋沿い		

<人口動態> (単位：人)

神栖市の人口の増減については、以下の通りである。 ※()内は、前年比

		人口	男	女
平成 23年	2月1日	94,913	48,810	46,103
	4月1日	94,702	48,710	45,992
	10月1日	94,292	48,535	45,757
平成 24年	4月1日	94,156 (-546)	48,479 (-231)	45,677 (-315)
	10月1日	94,446 (154)	48,724 (189)	45,722 (-35)

外国人登録数(各年12月末現在)

H19	H20	H21	H22	H23	
2,990	2,918	2,918	2,795	2,419	
—	-72	0	-123	-376	※対前年比

平成23年			
3月		4月	
転入	転出	転入	転出
449	695	381	875

平均	平成11年3月～23年2月 *平成12年,17年,22年10月を除く						平成23年4月～24年8月					
	毎月		3月中		4月中		毎月		3月中		4月中	
	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出
	381.8	358.1	644.8	845	554.8	434.1	302.8	336.7	471	644	440.5	694

※平成11年3月～17年8月に合併するまでの期間については、神栖町・波崎町の合計

神栖市内での被害は、人的被害としては負傷者 6 名という数字であったが、95,434 名(平成 23 年 2 月末現在)の人口のうち、避難者数が最多時で 8,615 人と全人口の 1 割弱にのぼった。

また、平成 23 年の平均転出者数が 351.1 名であるのに対し、3 月の転出者数は 695 名、4 月は 875 名と、多くの転出者がいた模様である。因みに、平成 11 年 3 月～平成 23 年 2 月までの 3 月・4 月の転出者数平均がそれぞれ 845 名、434.1 名であることから、震災後の平成 23 年 4 月の転出者数が際立って多いことがわかる。

なお、外国人登録者数については大幅な減少がみられる。

◇復興状況

津波による浸水、液状化、道路の隆起・陥没・亀裂・破損などによる市民の日常生活への影響は甚大であったが、「神栖市震災復興計画」に基づき、取り組みが進められている。

インフラの復旧については、上水道が 5 月 7 日に、下水道は 6 月 2 日に市内全域で復旧した。その他、雨水排水路の復旧、道路についても交通車両の安全確保のため舗装路面の応急復旧の実施、液状化調査と合わせて 3 年以内の全線本復旧を目指している。

庁舎等、公共施設の復旧については、平成 24 年度中の補修を予定している。なお、児童館・保育所の復旧、修繕は完了している。

さらに、復旧と合わせて災害に強いインフラの整備として、各施設の耐震化も実施している。

市民生活の安定に向けた支援として、被災住宅の支援、税金・保険料等の減免措置を行っている。罹災証明書の発行や義援金の配分については、平成 23 年度中に実施済みである。

また、産業基盤の復旧として港湾施設の復興、農業・漁業・商業に対する支援を行うとともに、災害により離職した失業者などに対しての雇用機会提供も行っている。

1-3 収録地点について

収録地点：神栖市波崎（波崎西町）＜旧波崎地区＞

◇位置

東は太平洋、西から南は利根川に囲まれた、神栖市の東南端の町である。

◇交通（距離／交通手段）

東京駅から 129km。車で約 2 時間、公共交通機関使用で 3 時間強。

水戸駅から 86km。車で約 2 時間、公共交通機関使用で 3 時間強。

市役所から 22.5km。車で 36 分。

・最寄駅：総武本線銚子駅（2.3km）

◇地勢

町の東側は鹿島灘に面しており、全体的に低地である。住宅地が広がっており、小売店も点在する。

国道 117 号と 124 号がそれぞれ北西から南東に向かって並走している。

シーサイドパーク、キャンプ場、波崎海岸砂丘植物公園、童子女の松原公園など、鹿島灘に沿って公園施設等が続いている。

◇行政区画

波崎地区

◇人口・戸数(4/1 現在)

人口総数 (男 ・ 女) / 戸数
2010 年 12,440 人 (6,076 人・6,364 人) / 4,469 戸
2011 年 12,324 人 (6,009 人・6,315 人) / 4,507 戸
2012 年 12,150 人 (5,920 人・6,230 人) / 4,515 戸

◇産業 (生業)

主な産業は、漁業と観光業。

【出典】 * 《 》 中は各ホームページへのアクセス年月日

○神栖市ホームページ

・「市のプロフィール」

<http://www.city.kamisui.ibaraki.jp/1043.htm> 《2013. 1. 16》

・「市政案内」 > 「統計情報」 > 「統計かみす」 > 「2 地勢, 風土等及び面積」

<http://www.city.kamisui.ibaraki.jp/secure/7017/1-2climate.pdf> 《2013. 1. 16》

・「市へのアクセス」

<http://www.city.kamisui.ibaraki.jp/6503.htm> 《2013. 1. 16》

・「市政案内」 > 「統計情報」 > 「神栖市人口」 > 「人口推移(月別)」 > 「平成 24 年」

<http://www.city.kamisui.ibaraki.jp/dd.aspx?menuid=1599> 《2012. 9. 6》

○神栖市震災復興計画【資料編】

http://www.city.kamisui.ibaraki.jp/secure/17866/fukkoukeikaku_siryohen.pdf 《2012. 9. 6》

○茨城県ホームページ

・国際課 > データ集 > 「外国人登録者数 (市町村別)」

<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/seikan/kokuko/jpn/data/01-03.xls> 《2012. 10. 26》

・「いばらき統計情報ネットワーク」 > 「茨城県の人口と世帯 (推計) 月報」 > 「茨城県の人口と世帯 (推計) -平成 24 年 12 月 1 日現在-」

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/jinko/getsu/jinkou1212.xls> 《2013. 1. 16》

以上、1-1, 2 に関して

○茨城県ホームページ いばらき統計情報ネットワーク > 分野別 (人口) 《2012. 11. 8》

・「茨城県の人口 (町丁字別)」 (平成 22 年 4 月 1 日現在) : 水戸市～小美玉市の市部

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/jinko/aza/aza22/hyou02-1.xls>

・「茨城県の人口 (町丁字別)」 (平成 23 年 4 月 1 日現在) : 水戸市～小美玉市の市部

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/jinko/aza/aza23/hyou02-1.xls>

・「茨城県の人口 (町丁字別)」 (平成 24 年 4 月 1 日現在) : 水戸市～小美玉市の市部

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/jinko/aza/aza24/hyou02-1.xls>

以上、1-3 に関して

2 神栖市波崎の方言の特色

方言区画上の位置・隣接諸方言との関係

茨城県の方言は福島県や栃木県の方言との類似が指摘されることがある。こうした指摘は無アクセントである点などに基づくものである。しかし、県内のすべての地域でアクセントの区別がないわけではなく、千葉県に隣接する地域ではアクセントの語彙的な区別がある場合もある。ここで取り上げる波崎の方言もアクセントの区別のある方言の一つである。

茨城方言の下位区分に関しては北部・西南部・南部の三つに分かれるとする説（田口 1939）と県北、浜言葉、県央、霞ヶ浦北浦周辺、県南西、利根川流域の六つに分かれるとする説（読売新聞 1967）がある。波崎は、三分説では南部に、六分説では浜言葉に分類されるが、以下に詳述するように、他の地域とは異なる独自の特徴を持っている（波崎町教育委員会 1991:4 もどの分類にも該当しないところに波崎の方言の特徴があるとしてきしている）。独自の特徴にはアクセントの区別がある点やいわゆるノダ文の「ノ」が出ない構造を持つ点などが含まれる。これらの特徴は利根川を挟んで隣接する銚子市で話されている方言と共通する特徴である。

音韻

(1) 子音が先行しない環境で標準語の/i/に対応する母音が[e]の音価を持つことが茨城県下の方言に関して指摘されている（宮島 1961）。波崎の方言でもその傾向はあり、「威張る」は[ebaruu]と発音される。ただし、これは語彙的な現象かもしれない。「行く」の第一音節は狭母音である（[igu]）。「息」[igi]と「駅」[egi]は第一母音の狭・半狭で区別される。

(2) 今回調査に協力してくれた話者に関する限り、シュとジュがシとジになる傾向はあまり見られない。

(3) 標準語の連母音[ai]、[ae]、[ie]に対応する要素が[e:]になる傾向がある。「入る」は[he:ruu]と、「帰る」は[ke:ruu]と発音される。また、「消える」は[ke:ruu]と発音される。ただし、「書いた」は[kaida]と発音される。

(4) 語中・語尾のカ行子音・タ行子音の有声化が見られる。「旗」と「肌」はともに[hada]と発音される。「開ける」は[ageruu]と発音されるが、「上げる」と混同されることはない。「上げる」の第二音節の子音は[ŋ]である（[aŋeruu]）。形態素境界では、有声化による音韻交替現象も見られる。「波崎」は単独で発音される場合や後続する要素が有声子音の場合は最終音節の子音が有声[g]だが（[hasagi]（波崎）、[hasagi-beN]（波崎弁））、後続する要素が無声子音の場合、最終音節の子音が無声[k]になる（[hasaki-+ŋiteN]（波崎支店））。

(5) 茨城県下の他の地域では、語中のジ・ビ・ズ・ブの無声化が生じる傾向がある。この現象は、ジ・ビ・ズ・ブに無声子音が後続する環境で生じる。波崎の方言にはこの傾向がない。「紫陽花」は[azisai]であって*[atŋisai]ではない。「兜」は[kabuudo]であって[kaputo]ではない。形態素境界を挟む環境でも同様である。「味付け」は[azisuke]であって*[atŋ-tsuke]ではない。また、「昆布茶」は[kobu-tŋa]であって*[kopu-tŋa]ではない。

ただし、子音の無声化が全く起きないわけではない。この方言ではノダ文の「ノ」が用いられない傾向にある（標準語の「来たんだ」は[kita=da]になる）。コンピュータの「ダ」に先

行する要素が「ル」で終わる場合、「ル」が促音化し、それに伴い「ダ」の子音が無声化する (/ku-ru=da/ [kutta] (来るのだ))。この特徴は利根川の対岸にある銚子市の方言でも見られる (銚子市教育委員会 1988)。

(6) 活用語尾「ル」が促音化する傾向があるのはコンピュータに先行する環境だけではない。助詞「から」「と」が続くときにも促音化する (イゲツカラ (行けるから)、ソースツト (そうすると))。

(7) 茨城県下の方言の大部分では語彙的なアクセントの対立がない。しかし、波崎の方言ではア'メ「雨」対アメ「飴」のような対立が見られる。

文法

(1) 「死ぬ」は [ɲiɲu] と発音される。茨城県下の方言の中には「行く」が [eɲu] または [iɲu] と発音される場合があるが、波崎の方言では [igu] と発音され、ガ行鼻濁音が用いられない。

(2) 否定接尾辞ネ (一) に接続するカ行変格活用動詞「来る」の形式はコではなくキである (キネー (来ない))。これは、否定推量接尾辞メーの場合も同様である (キメー (来ないだろう))。カ行変格活用動詞のコという形式は仮定と命令を表す形式で用いられる (コー (来い)、コーバ (来れば))。

(3) サ行変格活用動詞「する」は一段化しており、終止形はシルである。

(4) カ行変格活用動詞に関して仮定と命令の形式で用いられる語幹が共通であることを述べた。この傾向は一段活用動詞にも見られる (ニケ° ロバ (逃げれば))。五段活用動詞も仮定と命令の語幹部分は共通なので、動詞活用において已然と命令が統合した体系になっている。

(5) コンピューラの仮定形はナラではなくダラである。

(6) 一段活用動詞に接続する使役接尾辞の異形態は /rase/ である (mendo: mi-rase-ru (面倒を見させる))。

(7) 推量・意志の接尾辞「べ」および「ぺ」が用いられる。変格活用動詞と五段活用動詞の場合、推量・意志の接尾辞は終止形に接続詞、「べ」または「ぺ」の形式をとる (クッペ (来るだろう)、シッペ (するだろう)、いぐべ (行こう))。一段活用動詞の場合、終止形に接続する場合と連用形に接続する場合がある (デベー (出る)、カゲデ° ミンベ (かけて見よう))。

(8) 格助詞に関しては、次のような特徴がある。方位格の格助詞サが用いられる点は、茨城県の他の地域と同様である (フロバサ° イグベ (風呂場に行こう))。斜格経験者を表すカ° ニが用いられる点では、常総市や坂東市や稲敷郡美浦村の方言と共通点がある (オレカ° ニャ° ワガンネ (私には分からない))。茨城県内には直接目的語がゼロ格形式もしくは格助詞ゴドで表される方言が多いが、波崎ではゼロ格形式と格助詞バが用いられる (ツクエ° タダグナ (机を叩くな)、オレバ° ツレデッテクレ (私を連れて行ってくれ))。カ°

は文の主語を表すだけでなく、名詞句内で所有者を表すことがある（オレカ° モノ（私のもの））。

(9) 標準語の終助詞「ぞ」が用いられる箇所、終助詞「ど」が用いられる。ニケ° ネゲ ダメダド（逃げなければダメだぞ）。

(10) 標準語のノダ文のノが欠落する傾向がある。キナイダガラ（来ないのだから）。

語彙

(1) 一人称は男性・女性にかかわらずオレが用いられる傾向がある。二人称はワレとウヌが用いられるが、ニュアンスに違いがある。ワレは中立的だが、ウヌには蔑むニュアンスがあるという。また、-ra を付けることにより代名詞の複数形を作るが、-ra の前の/re/ が促音化し、[orra]（一人称複数）、[warra]（二人称複数）のような音形になる。

(2) 接頭辞

茨城県の他の地域と同様、接頭辞が多用される傾向がある。様々な種類の接頭辞が使われるが、いずれの場合も強意を表すものと考えられる。フッタゲル「焚きつける」、クッチャベル「話す」など。波崎町教育委員会(1991)にはこうした接頭辞を含む語彙が多数収録されている。

田口美雄(1939)「方言」『総合郷土研究 下巻』茨城県師範学校・茨城県女子師範学校編. 272-290. 茨城県.

銚子市教育委員会(1988)『銚子のことば』銚子市教育委員会.

波崎町教育委員会(1991)『波崎のことば』波崎町教育委員会.

宮島達男(1961)「方言の実体と共通語化の問題点 6 福島・茨城・栃木」『方言学講座第 2 巻 東部方言』東条操監修. 236-63. 東京堂出版.

読売新聞社(1967)『茨城の民俗』鶴屋出版部.



写真1 鰯のみりん干しのイサバヤ（加工場）



写真2 銚子大橋から見た利根川河口（左：波崎 右：銚子） 波崎の平坦さがよくわかる



写真3 波崎・庚申山から銚子をのぞむ

3 神栖市波崎の談話

3-1 神栖市波崎の談話資料の概要

収録地点

茨城県神栖市波崎

収録日

談話 A (自由談話) …平成 12 (2012) 年 9 月 12 日

談話 B (場面設定) …平成 12 (2012) 年 9 月 13 日

話題 (収録時間)

【1】震災当日のこと (8分25秒)

【2】チリ地震の時のこと (4分10秒)

話者

話者 A 女性 1939 (昭和 14) 年 (収録時 73 歳) 元水産加工業

話者 B 女性 1938 (昭和 13) 年 (収録時 74 歳) 元水産加工業

話者 C 女性 1936 (昭和 11) 年 (収録時 75 歳) 元水産加工業

3-2 神栖市波崎の談話A (自由会話)

【1】震災当日のこと

収録時間 8分25秒

話し手

A	女	1939 (昭和14)年	(収録時73歳)	
B	女	1938 (昭和13)年	(収録時74歳)	
C	女	1936 (昭和11)年	(収録時75歳)	
D	男	1966 (昭和41)年	(収録時45歳)	[調査者1]

001A : キノーカ° イチネンハンダガッテヨー。(C アー ソーカ ソーカ)
昨日が 一年半だかってよー。(C ああ そうか そうか)

002B : オッカナガッタヨナー、アントギワナー。
おっかなかったよなー、あのときはなあ。

003A : ウーント オモイワヨー、モー アレジャー。シタグナインダゲドモ
うーんと 重いわよー、もう あれじゃー。したくないんだけども。

(C ニドトネ ニドト アレワ ウーン)

(C 二度とね 二度と あれは うーん)

コレ ワガンナイヨ。

これ わからないよ。

004C : アレ クルヨナ。
あれ 来るよな。

005B : ンダケット クルヨ、マダ。ワシラ シンデガラダヨ。
だけど 来るよ、また。わしら 死んでからだよ。

006C : カバン ソノママダヨ、ハイッタママ。(A ミンナ ハイッテルヨ)
鞆 そのままだよ、入ったまま。(A みんな 入っているよ)

007A : ハイッテルケドモ イザト ナッタラ モッテワ ニケ° ラレナイト
入ってるけれども いざと なったら 持っては 逃げられないと

(C ニケ° ランナイ) (B ニケ° ランネー。ニケ° ランネーヨ)

(C 逃げられない) (B 逃げられない。逃げられないよ)

オモーケレドモ トリアエズ イズモ ニモズオ フタツツワ
思うけれども とりあえず いつも 荷物を 二つは

(C ウン ウン ソレオネ ヨーイシテ アンノ)

(C うん うん それをね 用意して あるの)

ヨーイシテアルケレドモ イザド ナッタラ ニケ° ラレナイ。
用意してあるけれども いざと なったら 逃げられない。

タダ アノ ジシン キタ トギニ。
ただ あの 地震 来た ときに。

008B : オメ イネガッタッペヨナ。

お前 いなかったよね。

009A : チョード ワタシワ ムスメノ ウジニ イデ、マコ° カ° ネ カエッテキタノ、
ちようど 私は 娘の うちに いて、孫がね 帰ってきたの、

(C ア イッテダガンナ)

(C あ 行ってたからな)

アノ カコ° メオーハシ ワダッテ。{相槌} ホシテ カエッテキテ フタリデ
あの カモメ大橋 渡って。{相槌} そうして 帰ってきて 二人で

テレビ ミデ ジャ ツメタイ モノデモ ダスカッテ ヤッテル トギニ
テレビ 見て じゃ 冷たい ものでも 出すかって やってる ときに

アノ ユレカ° キタダヨ、サイショノ。
あの 揺れが 来たんだよ、最初の。

010B : ツヨガッタドナ。

強かったよな。

011A : デ、ソノ ユレカ° キタ トギニ、ネ、オレカ° ヨ {笑} アノー
で、その 揺れが 来た ときに、ね、俺がよ {笑} あのー

デデラレナイダヨ。 ウロウロウロウロ シチャッテ。{笑}
出ていられないんだよ。うろろうろうろ しちゃって。{笑}

012A : ウチンナカデ モー ウロウロウロウロ シチャッテネー ソレデ
うちの中で もー うろろうろうろ しちゃってねー それで

アノー サンドル カダッポ ツッカゲデネ。{笑} カダッポヨ。カダッポワ
あのー サンドル 片っぱ 突っ掛けてね。{笑} 片っぱよ。 片っぱは

ハダシデ トビダシタノ。(C ウーン ウーン) ホシタラ マコ° カ°
裸足で 飛び出したの。(C うーん うーん) そうしたら 孫が

バーチャン ホラ サンダル ハガネド ショーネーゾッテ イワレデ。
ばあちゃん ほら サンダル 履かないと しょうがないぞって 言われて。

フタリデネ ブロックノ ウエサ ツカマッテ。
二人でね ブロックの 上に 捉まって。

013A : _____

014B : スコ° ガッタヨ、アンドギワ。
凄かったよ、あのときは。

015A : デ、カエッテキテ。
で、帰ってきて。

016C : _____ グラグラグラグラッテ、ウチナンカ コンナガッチリシテタッテ、
_____ ぐらぐらぐらぐらって、うちなんか こんながっちりしてたって、

グラグラグラグラッテ ナッタダモノ。
ぐらぐらぐらぐらって なったんだもの。

017A : シタノ マコ° カ°、ホラ アノー アントギワ マダ
下の 孫が、ほら あのー あのときは まだ

ショーカ° ツコーダッタガラ。(B アー ソーカ ソーカ)
小学校だったから。(B あー そうか そうか)

ショーカ° ツコーコーカ° クネンデ。ガッコサ ムガエニ キテクレッテワゲ。
小学校高学年で。 学校に 迎えに 来てくれってわけ。

ソシタッケ ソノウジニ モー ホラ ツナミケーホー。
そうしたら そのうちに もー ほら 津波警報。

018B : ア、ケーホー デダガ。
あ、警報 出たか。

019A : ケーホーカ° ネ マモナグ デダダヨ。(B アー) ヒナンシテクダサイッテ。
警報がね 間もなく 出たんだよ。(B あー) 避難して下さいって。

020B : ワシワ。
わしは。

021C : ウジノ オドツツァワヨ ホラ オッカ フロバサ ニケ° ロツテ、オレバナ。
うちの お父さんはよ ほら お母 風呂場に 逃げろって、俺をな。

フロバサ イグベッチワゲダヨ。フロバナンダ。フロバ アレカ° イツパイ
風呂場に 行こうってわけだよ。風呂場なんだ。風呂場 あれが いっぱい

アッカラ フロカ° イーツテ キーダガラ フロバサ イグベッチッタ。
あるから 風呂が 良いって 聞いたから 風呂場に 行こうって言った。

フロバサ イッタツテ フロバノ ミズ クンデアッタガラ コーダッペ。
風呂場に 行ったって 風呂場の 水 汲んであったから こうだろう。

ナミ ナツテベ コンダ オモデ イグベド オモデサ デデヨ
波 なってるだろう 今度は 表 行こうと 表に 出てよ

ミンナデ ハナシシテダゲドヨ。
みんなで 話ししてたけどよ。

022A : ホンデ イッカイメ オサマッタノデ アー X 1 [1] オサマッタワツテヨー。
それで 1 回目 収まったので あー X 1 収まったわってよー。

イヤー ンデモ テレビ カゲデミンベド オモツテ。ネー テレビ
いやー それでも テレビ かけてみようと思つて。 ねー テレビ

カゲデ (B :) ソノウジニ ニカイメカ° ネ アノ ニカイメカ°
かけて (B :) そのうちに 2 回目がね あの 2 回目が

コワガッタダヨー。ナカ° ガッタダヨー、アレカ°。(C ニカイメガナー)
怖かったんだよー。長かったんだよー、あれが。(C 2 回目がなー)

023B : ナカ° ガッタ。 (C ナカ° ガッタナ、ウーン)
長かった。 (C 長かったな、うーん)

024A : マエノ ウジカ° ヨ ミゴシミデニヨ (C ソーソー) ユレデンノ。
前の うちがよ 御輿みたいによ (C そうそう) 揺れてるの。

025C : コーンナ デツケーノ ハジメデダガラナー
こーんな でっかいの 初めてだからなー

026A : ユレデデヨ。マー ワダシ コッチノ ウジワ ダメダナツテ オモツテダ。
揺れててよ。まー 私 こっちの うちが だめだなって 思つた。

=====
=====

027C : オダグノ アソゴワ カケ° ダッペ _____。
おたくの あそこは 陰だろう _____。

028A : チクサンジューシチネンダガラネ。モー ゼッター ダッテ モーヨー
築 37 年だからね。 もう 絶対 だつて もーよー

バーチャンチワ モー ウチ ネードッテ。ワダシワ スコシヨー。
ばあちゃんは もう うち ないぞつて。私は 少しよー。

トメデクレナッテ。イッカゴニンデ イギネゲナンエーワッテ。 タブンヨー。
泊めてくれなつて。一家 5 人で 生きなければならぬわつて。たぶんよー。

029C : マダ アダラシーガラナー、アッチワ。
まだ 新しいからなー、あつちは。

030A : ウジノホーワ ホラ オッラノ ミンナ フルイベヨ。(B ソーソーソーソー)
うちのほうは ほら 俺らの みんな 古いだろうよ。(B そうそうそうそう)

オメラエダノ Bサンエワ アダラシーゲドモ。(C _____) _____
お前らだの Bさんの家は 新しいけれども。(C _____) _____

タブン イッタラ ウジ イネーガモ ワガンネワッテ イッテ。
たぶん 行ったら うち いないかも しれないわつて 言つて。

ミッカクライ ミッカクレー イエニ (B ホントダナー) ムゴーニ
三日ぐらい 三日ぐらい 家に (B 本当だなー) 向こうに

イギッパナシダッタダヨ。
行きっぱなしだつたんだよ。

031B : ホントニ アレワ コノヨノ ミオサメガド オモッタ、ワダシ。ジーサンド
本当に あれは この世の 見納めかと 思った、私。じいさんと

フタリデ {相槌} ナンカ テレビ ミデダダヨナ。シタツケ アレツ
二人で {相槌} なんか テレビ 見てたんだよな。そうしたら あれっ

ジシンダナー タイシタコト アンメッテ ワシヤ ジーサン ユックリ
地震だなー 大したこと ないだろうつて わしや じいさん ゆっくり

カメーデダダヨ。ソノウジニ コー ナッテ キタッペ。ア ジーサン
構えてたんだよ。そのうちに こう なつて 来ただろう。あ じいさん

コッテワ ダメダッテ フタリデ トビダシタダヨ。
これでは だめだつて 二人で 飛び出したんだよ。

032A : バーチャンワ、バーチャン。
ばあちゃんは、ばあちゃん。

033B : オイデキツチャッタヨ。{笑}
置いてきちゃったよ。{笑}

034C : バーチャン アルゲネノニ オイデキツチャッタヨ。 _____
ばあちゃん 歩けないのに 置いてきちゃったよ。 _____

へーチャラダヨ。 _____
へっちらだよ。 _____

035B : オイデキツチャッテー。
置いてきちゃってー。

036A : フタリトモヨー モノオ モッテヨー。タトエバ コノ バックダヨ。
二人ともよー ものを 持ってよー。例えば この バックだよ。

モッテ ニケ° ルトガー。
持って 逃げるとかー。

037C : ニケ° ランナイ。
逃げられない。

038A : ア ソレ ゼンゼン アダマン ナイ。
あ それ 全然 頭に ない。

039B : ゼッタイ ソレワ デギナイド オモー。
絶対 それは できないと 思う。

040A : ソレワ ナガッタガラー。
それは なかったからー。

041C : ンダガラ ミンナカ° ショッテデ。ア ソーダ ショッテデ
そうだから みんなが 背負ってて。あ そうだ 背負ってて

ニケ° ロバ イーダナッテ。
逃げれば いいんだなって。

042A : ソシテ スク° ツナミケーホー。(C オラ キカネーヨー)
そして すぐ 津波警報。(C 俺は 聴かないよ)

(B キカネ。キカネ) ツナミケーホーカ° キタノ。
(B 聴かない。聴かない。) 津波警報が 来たの。

ヤタベワネ ダイニショーカ° ッコーサ ニケ° デクレッチワゲ。
谷田部はね 第二小学校に 逃げてくれってわけ。

マコ° カ° バーチャン ニケ° ネゲダメダドツツーガラヨー、
孫が ばあちゃん 逃げなければダメだぞって言うからよー、

ワレ ニケ° ダッテヨー ツナミワヨー アレダゾッテ。アノー
お前 逃げたってよー 津波はよー あれだぞって。あのー

バーチャンチノホーガー マルッポド ノマレネゲレバ コゴマデ
ばあちゃんちのほうが一 完全に 飲まれなければ ここまで

キナイダガラー。ヤタベツド モー ホラ ジッキロイジョー。
来ないんだから。谷田部というもー ほら 10キロ以上。

043B : ホントニヨー アントギニャ オモデサ ジーサンド デデキタッペ。
本当によー あのときには 表に じいさんと 出てきたろう。

デ ソバ ミダッケ ヘンコカ° イネダヨー。
で 側 見たら お祖母さんが いないんだよー。

044C : ヘンコッテ オバーサンダヨナ。ヘンコバーサンッテネ。
「へんこ」って お祖母さんだよな。「へんこばあさん」ってね。

045D : アー オバーサンノ ナマエデスカ。
あー お祖母さんの 名前ですか。

046C : トシヨリノ ナマエオ ヘンコ ヘンコッテ イーノヨ。トゴロニヨッテ。
年寄りの 名前を「へんこ」「へんこ」っていうのよ。ところによって。

047B : ジーサン ヘンコ オイデキッチャッタ。ヘンコ オイデキッチャッタ。
じいさん お祖母さん[を]置いてきちゃった。お祖母さん 置いてきちゃった。

シタラ ヘンコカ° デードゴロデ ワッラー ジシンダヨー {笑}
そうしたら お祖母さんが 台所で お前達 地震だよー {笑}

ジシンダヨーッテタダヨ。 ソシテ ヘンコ ソゴニ イダッテ
地震だよーって言ってたんだよ。そして おばあさん そこに いたって

ショーネー。ハッテコーツツッテ。フタリデ ヒッパリダシタダケットモ
仕方がない。這ってきなさいって。二人で 引っ張り出したんだけども

ヒトリワ デブデ オモイワヨ ゾーカ° メダカ° ヨ。ワシワ チカラカ°
一人は デブで 重いわよ。ゾウガメだがよ。 私は 力が

ネーダガラ ナジニシテ ヒッパリダシテ オモデサ ダシタライーガ
ないんだから どのようにして 引っ張り出して 表に 出したらいいか

ワガンネガッタ、アンドギワ。
分からなかった、あのときは。

048C : イチリンシャ カットゲ イチリンシャヨ。 {笑}
一輪車 買ってあげ 一輪車よ。 {笑}

049B : ナーnder ドーシテ コンド コノ オヤバ ドーヤッテ ヤッタラ。
何だー どうして 今度 この 親を どうやって やったら。

050A : ドゴサ ニケ° ッカッテナー。
どこに 逃げるかってなー。

051B : ニケ° ッカッテ ソレバッカリ カンケ° ーデル。
逃げるかって そればかり 考えてる。

052C : オレラントゴ アソゴニ ヤマ アッペ。 アソゴマデ アカ° ッテグノ
俺らのところ あそこに 山 あるだろう。あそこまで 上がっていくの

タイヘンダモンナー。
大変なものなー。

053B : アソゴダラ ワシカ° ニガイノホー タガイ。
あそこなら 私の 二階のほう 高い。

054C : タガイガ。ア ソーガ ソーガ。ウーン。
高いか。 あ そうか そうか。うーん。

055A : デモ _____ノ ジーチャン イッテダド。Y 1 [2]ノ トナリノ アノヤマネ、
でも _____の じいちゃん 言ってたぞ。Y 1の 隣の あの山ね、

アノ ヤマワ コーシンサマノ ツキ° ニ タガインダガラー
あの 山は 庚申様の 次に 高いんだからー

(C タガイナー) コンド ジシンカ° アッテ ツナミカ° キタラ
(C 高いなー) 今度 地震が あって 津波が 来たら

(C ソゴ イッタラ イーナー) アソゴサ ニケ° ル。
(C そこ 行ったら いいなあー) あそこに 逃げる。

056B : アノ チッチャコイ ヤマ。
あの 小さい やま。

057A : アノ チツチャイ ヤマデモ ヒカ° シコー [3] ノ サンカ° イヨリ
あの 小さい 山でも 東校の 三階より

タガイダッテ。(C エー)
高いんだって。(C える)

058B : コゴラ カイバツ ロクテンゴクレダナ。
こちら 海拔 6.5 くらいだな。

059A : ウジデ カイバズー、ウジワ カイバズヨー シラベデ モラッテ ハチメーター。
うちで 海拔、 うちが 海拔よー 調べて もらって 8メーター。

X 2 サントゴカ° キューメーター。
X 2 さんのところが 9メーター。

060B : イジバン タガイダッペナ。
一番 高いんだろうな。

061A : イジバン タガイノカ° コーシンサマ。(B コーシンサマナー) アレ
一番 高いのが 庚申様。(B 庚申様なー) あれ

ジューチメーター。コーシンサママデ ニケ° ラレナイガラ。
11メーター。 庚申様まで 逃げられないから。

062C : ニケ° ランネ。コッカラ カゲデグマデニ。
逃げられない。ここから かけていくまでに。

063A : Y 1 ノ アノ ヤマー。(C アソゴ タガイモンネ、ケッコー)
Y 1 の あの 山。(C あそこ 高いもんね、結構)

コンド キタラ モー テンデンコーダガンナ。ツナミカ° キタラ
今度 来たら もう テンデンコーだからな。津波が 来たら

テンデンコーダゾッテ モーネ。
テンデンコーだぞって もうね。

064B : _____ アレダネ、アソゴサ コヤ ツグッテ (A ソーソー)
_____ あれだね、あそこに 小屋 作って (A そうそう)

オイドガネゲ ショーネーナー。
置いておかなければ 仕方ないな。

065C : ソーダ。イチバン テッペンサ コー コヤ コセデ。
そうだ。一番 てっぺんに こう 小屋 拵えて。

066A : オサマルマデ アソゴニ イデ ネ オサマッタラ ドゴサ ニケ° ッカ。
収まるまで あそこに いて ね 収まったら ドコに 逃げるか。

トリアエズ ソゴサ ニケ° ルゴドニ シテ。
とりあえず そこに 逃げることに して。

067B : ワシノ ジーサンワ ナントガ コーシンサマノ デマデ [4]
私の じいさんは 何とか 庚申様の 台まで

イガレルヨ。
行くことができるよ。

068A : コーシンサマノ デマデワヨー。
庚申様の /まではよー。

069B : ダケット イッショケンメダガラ イッチャーヨ。
だけど 一所懸命だから 行っちゃうよ。

アルッタツケ ウーン ゴフン カガンネ。
歩いたら うーん 5分 かからない。

070A : ガッコマデ ゴフンダッタ。
学校まで 5分だった。

071B : サンブンチョットデ イッチャー、アソゴマデ。アノ ハガッテミダダヨ。
3分チョットで 行っちゃう、あそこまで。あの 計ってみたんだよ。

072C : アシカ° ズグッチャーゾ、オメ。 ソーナッタラ。
足が すくんでしまうぞ、お前。そうになったら。

073B : ソーダヨナー。(C ウーン ナッチャードー)
そうだよなー。(C うーん なっちゃうぞ)

074A : トナリノー アノヤマエ。アノ ヤマエ (C アノ ヤマワ イーワ
隣の あの山へ。 あの 山へ (C あの 山は いいわ

_____) ニケ° デ ネ アノー ツナミカ° ホラ ナミカ° キテモー
_____) 逃げて ね あのー 津波が ほら 波が 来ても

タブン ダイジョブダガラ。
たぶん 大丈夫だから。

075B : コマツヤマ [5] ダッタガナ、アレナ。
小松山だったかな、あれな。

076C : ズイブン タガイド、オメ。
ずいぶん 高いぞ、お前。

077B : タガイノガナ。
高いのかな。

078C : タガイド、オメ。
高いぞ、お前。

079B : アノ ヤマ スク° シタダガンナ、ワダシラントゴ タッテンノワナ。
あの 山 すぐ 下だからな、私らのところ 立っているのはな。

080A : ソシテ アノー マズダノ タゲツツノワ ジシンニ ツヨインダッテ。
そして あのー 松だの 竹っていうのは 地震に 強いんだって。

081C : アー ソー。(A ダガラ)
あー そう。(A だから)

082B : タゲカ° ツヨイダッペナ。
竹が 強いんだろうな。

083A : タゲモ ツヨイシ マズモ ツヨイガラ コンド キタラ ゼッタイニ
竹も 強いし 松も 強いから 今度 来たら 絶対に

アソゴサ ニケ° ッペナッテ ャッテンノ。(B ャッテンノ) ンダガラ
あそこに 逃げようなって 言ってるの。(B 言ってるの) そうだから

テンデンコーダドッテ。ネ チョーシノ カワク° ジ テンデンコーデヨ、ネ。
テンデンコーだぞって。ね 銚子の 河口 テンデンコーだよ、ね。

(B ホントダナー テンデンコーダヨナー) チョーシノ カワク° ジ
(B 本当だよな テンデンコーだよなー) 銚子の 河口

テンデンコーダガラ。
テンデンコーだから。

084C : フーフデモ ショーカ° ネーワナー、ソレワ。
夫婦でも 仕方がないわなー、それは。

085A : ソレワ フーフモ オヤゴモ (C ホントダヨ) アレダガラ トニカグ バシヨ
それは 夫婦も 親子も (C 本当だよ) あれだから とにかく 場所

キメドイデ アソゴサ モー オダカ° イニ ニケ° ベーナッテ。
決めておいて あそこに もう お互いに 逃げようなって。

086B : ダケド ワシラワヨー オヤ ヒトリワ オイデゲネ。 モロトモダナッテ
だけど 私らはよー 親 一人は 置いて行けない。もろともだなんて

イツモ ハナシ シテルケツモヨ。(A ソレダヨネ) オヤワ オレワ サギ
いつも 話 してるけれどもよ。(A それだよ) 親は 俺は 先

イグ モンダガラ ワッラカ° ニケ° ラレロバ ニケ° ロッテ。ダケツト
逝く 者だから お前らが 逃げられれば 逃げろって。だけど

ヘンコヨッテ (A ダケドモヨ ソレワナー) オメ ヒトリ
お婆ちゃんよって (A だけでもよ それはなー) お前 一人

ミコ° ロシニワ デキネヨッテ。ワッラカ° シンジャツタラ
見殺しには できないよって。お前らが 死んでしまったら

アドノ ガギ ナニ シッタツノヨ。
あとの 子供 何 するんだっていうのよ。

087C : ヘトヘト ナッテ デガイノナラ ショーネーケド。マーマー _____
くたくた[に] なって でかいのなら 仕方がないけれど。まーまー _____

ダゲド ソリヤ オメ マダ ピンピン シテ オメラヨリモ
だけど それは お前 まだ ぴんぴん して お前らよりも

(B _____ワ シテランネヨナー) オメラヨリ クーノニ、オメ。{笑}

(B _____は してられないよなー) お前らより 喰うのに、お前。{笑}

イグツツダ。
いくつだ？

088B : ハジジューゴログニ ナッタッペヤナー。(C ハジジューゴガ) ナンセ
85, 6に なっただろうよなー。(C 85か) 何せ

クーガラ ゴーカ° メザダガラ。
喰うから ゴウガメ座だから。

089C : ナ、コーダモンナ。ダガラ ヨーイデネーワ。アノ ヒトワ オブッテモ
な、こうだものな。だから 容易でないわ。あの 人は 負ぶっても

オブエネーワ。
負ぶえないわ。

090B : タイヘンダド。(A ダケドモ ヨー)
大変だぞ。(A だけでも よー)

091A : コンド ジシンカ° キタラヨ ホントニ アレダガンナ。
今度 地震が 来たらよ 本当に あれだからな。

092C : シク° カグコ° ダナ。
死ぬ 覚悟だな。

093A : マ コゴラワー (C ソンナニー) ハチキューメーターチカグ アッカラ
ま ここらは (C そんなに) 8, 9メーター近く あるから

アレダケドモ。シタノ トーリワ ゼンメツダナ。
あれだけれども。下の 通りは 全滅だな。

094C : ゼンメズダナ。
全滅だな。

095A : ハマノ トーリネ。ハマノ トーリト アノ ウエノ トーリワ。
浜の 通りね。浜の 通りと あの 上の 通りは。

096B : X 3 ラエノホーモ ゼンメズダヨ、アッチ。アソゴマデ イッター
X 3らの家のほうも 全滅だよ、あっち。あそこまで 行ったら

コゴマデ クルヨーダッタラ ハサキ オワリダヨナ。
ここまで 来るようだったら 波崎 終わりだよな。

097A : オワリダヨ。コゴカ° ヤラレダラ モー ドゴサモ ニケ° ルドゴ
終わりだよ。ここが やられたら もう どこにも 逃げるところ

ナイダガラ。ト オモー。
ないんだから。と 思う。

【2】チリ地震の時のこと

収録時間 4分10秒

話し手

A 女 1939 (昭和14)年 (収録時73歳)
B 女 1938 (昭和13)年 (収録時74歳)
C 女 1936 (昭和11)年 (収録時75歳)

098B : ダケットモヨー。オメラ チリジシン シッテッカ。
だけでもよー。お前ら チリ地震 知っているか。

099A : シッテルヨー。(B チリジシン)
知っているよ。(B チリ地震)

100B : アレヨー サンジューゴネンダッタダヨナ。サンジューゴネンノ ゴカ° ツー。
あれよー 35年だったんだよな。 35年の 5月。

ハルダガラ ゴカ° ツコロダワナー。ワシラノ ジーサンカ°。
春だから 5月ことだわなー。私らの じいさんが。

101A : アントギョ ミズカ° カワニ ミズカ° ナンニモ ナグナッチャッタ。
あのときよ 水が 川に 水が 何も なくなっちゃった。

102B : ワシラノ ジーサンカ° (A ゼンブネー ヒーチャッテネー) ワシライサ
私らの じいさんが (A 全部ねー 引いちゃってねー) 私らの家に

キタ アグル トシダッタダヨ。X4ガラ Bン ナッタ アグル
来た 明る 年だったんだよ。X4から Bに なった 明る

トシダッタダヨ。
年だったんだよ。

103A : ソーダ ワダシラ マダヨ ケッコンシテナガッタガラ。
そうだ 私ら まだよ 結婚してなかったから。

104B : デ エサノ フネ イッテダッペ。チョード シラオ〔6〕ノ
で 自分の家の 船 行ってたろう。ちょうど シラオの

ジギダッタガラ。アソゴラ スーラダッタッペヨ。 Y2ノ シタマデカ°。
時期だったから。あそこら 遠浅の砂浜だったろうよ。Y2の 下までが。

105A : ソー ガンペギ ナガッタガラ。
そう 岸壁 なかったから。

106B : Y 3 ノ シタナンカ スーラダッタペ。 ソシテ ジーサン
Y 3 の 下なんか 遠浅の砂浜だっただろう。そして じいさん

オヤジーサンカ° フネカ° デベド オモッタツケ ナミカ°
義父の 船が 出るだろうと 思ったら 波が

アノ シタカ° ミエチャッタダド。スナン ナッチャッタド。
あの 下が 見えちゃったんだと。砂に なっちゃったと。

(A スナン ナッチャッタ)

(A 砂に なっちゃった)

107C : アソゴワヨー アノ モドカラヨー アソゴワ アノ スナカ°
あそこはよー あの もとからよー あそこは あの 砂が。

108B : スーラダッタモンナ。(C ソーイエバ アソコモ ヒトカ° シンダッペヨ)
遠浅の砂浜だったものな。(C そういえば あそこも 人が 死んだだろうよ)

109A : ウジノ ジーチャンカ° フネデ ソレデ カワ カワ ハイッテキテ
うちの じいちゃんが 船で それで × 川 入ってきて

アノ アミオ アケ° ヨド オモッテダндаッテネ。ソシテ
あの 網を 揚げようと 思ってたんだってね。そして

ミンナデ アミ アケ° デダツケネー ドンドンドンドン
みんなで 網 揚げてたっけねー どんどんどん

ドンドンドンドン ミズカ° ヒージャツテ (B スーット イッチャツテ)
どんどんどん 水が 引いちゃって (B すーっと 行っちゃって)

ホンデネ フネカ° ネ シタ ツイッチャタダツテ。(B フネカ° テンカラ
それでね 船がね 下 付いちゃったんだって。(B 船が てんから

ナッチャッタ [7] ダツテ) ア ナンダ コレ ナンダ コレ。
なっちゃったんだって) あ 何だ これ 何だ これ。

110C : ソーイノ ゼンゼン シンネ、ワダシ。
そういうの 全然 知らない、私。

111B : アッタダヨ。ワシラカ° ケッコンシテ アクル トシダヨ。
あったんだよ。私らが 結婚して 明くる 年だよ。

(C ただ、あのよ スナカ° _____)

(C ただ、あのよ 砂が _____)

112A : ソントギワ チョーシオーハシワ タツテダ。チョーシオーハシワ
そのときは 銚子大橋は 建ってた。銚子大橋は

サンジュー ア タツテナガッタ。(B タツテネーヨ) (C タツテネー)
三十 あ 建ってなかった。(B 立ってないよ) (C 立ってない)

(B タツテネー) コージ ヤツテダ。コージ ヤツテダノ。ソレデネ ソノー
(B 立ってない) 工事 やってた。工事 やってたの。それでね その一

コンド ナンダナンダッテ ミンナデ サワイデル ウジニ
今度 何だ何だって みんなで 騒いでる うちに

コレ ナンダ ツナミデネノガツツッテル ウジニネ
これ 何だ 津波でないのかって言ってる うちにね

コンダ カワク° ジガラネ スコ° イ ナミデ キタダッテヨー。
今度は 河口からね 凄い 波で 来たんだってよー。

(C ソーイノ ゼンゼン シンネナ、オレナ) ソレゴソネ。
(C そういうの 全然 知らないな、俺な) それこそね。

113C : オレノ ホー トシウエナノニナ。
俺の ほう 年上なのにな。

114B : オメノ ホー トシヨリダガ シンネカ° ー。
お前の ほう 年寄りだか 知らないが。

115A : ナナメーターク° ライノ ナミデ キテ。(C タダ アソゴワ スナカ° コー
7メーターぐらいの 波で 来て。(C ただ あそこは 砂が こう

スナジカ° コーナッテルツツノワ シツテダケドナ) チョーシオーハシノ
砂地が こうなってっていうのは 知っていたけどな) 銚子大橋の

コージ ヤツテルトゴマデ Y4ノ フネ ナカ° サレチャッタ。
工事 やってるところまで Y4の 船 流されちゃった。

116C : アソゴニ アノ ゴーセンジョカ° アッタダヨナ。
あそこに あの 造船所が あったんだよな。

117B : Y5ド X5カ° アッタノ。(C Y5ト X5カ°
Y5と X5が あったの。(C Y5と X5が

アッタダヨネ)
あったんだよね)

ソゴントゴニ フネカ° ツイタンダガラ。
そこのところに 船が 着いたんだから。

118C : アソゴニ トセンバ ハシミデナノ アツタンジャネーガ。トセンバミダイナノ。
あそこに 渡船場 橋みたいなの あったんじゃないか。渡船場みたいなの。

119B : アノ ミズ ミズオ コー ミルヤズ。スイイオ ミルヤズ。
あの 水 水を こう 見るやつ。水位を 見るやつ。

(C アソゴワ シッテタヨー)
(C あそこは 知っていたよ)

120C : オラ ボデ ショッテ タギモノ ヒロイニ イッタヨ。タギモノ
俺は 籠 背負って 焚きもの 拾いに 行ったよ。焚きもの

ヒロイニ ボデ ショッテ。タギモノ ネーガ。フロ フッタゲナギヤ
拾いに 籠 背負って。焚きもの ないか。風呂 焚かなければ

ショーネーガラ。 _____
仕方ないから。 _____

121A : ダッテ タイフーン ナットヨ ミンナデ デノハマ [8] バヨー。
だって 台風にならるとよ みんなで での浜をよー。

122B : アケ° シノクソゴミ ヒロイ [9] ニ イッタベ。
上げ磯のくそゴミ 拾いに 行っただろう。

123A : デノハマサ タキモノ ヒロイニ イッタッペヨナ。
での浜に 焚きもの 拾いに 行っただろうよな。

124C : ソーダヨナ。
そうだよな。

125B : アケ° ソノクソゴミ ヒロイニ イグベッテ イッタッペヨ。
あげそのくそゴミ 拾いに 行こうって 行っただろうよ。

(C _____) デ ソノ
(C _____) で その

ツナミデナ オヤジーサンカ° コノ バカラエッテ ウヌラカ° ナ
津波でな 義父が この 馬鹿者って お前らがな

デレデレ シテッカラナ フネカ° デランナク ナッチャッタッテ
のろのろ しているからな 船が 出られなく なっちゃったって

エーササ アカ° ッテキタダド。デ ワシラエサ キタダッテヨ。
家に 上がってきたんだと。で 私らの家に 来たんだってよ。

エサ キテ ドッコイショッテ スワッテ マモナグダッタナ
家に 来て どっこいしょって 座って 間もなくだったな

X 6ー ツナミダーッテナ コエダッタダド。フットバシテ
X 6ー 津波だーってな 声だったんだと。急いで

イッタダド。
行ったんだと。

126A : ソンデ マモナグダッテヨ。アノー チリツナミン トギニワ。ダガラ
それで 間もなくだってよ。あのー チリ津波の ときには。だから

スコ° イ オッカナイ オモイ オッカナイ オモイ シテッテヨ。
凄い おっかない 思い おっかない 思い しているのよ。

127B : ナンメートルク° ライ アッタガナッテ イッテダ。
何メートルぐらい あったかなって 言ってた。

128A : エンジン カゲデモ ナニモ トモカグネ チョーシオーハシノ
エンジン かけても 何も ともかくね 銚子大橋の

コージゲンバマデ ナカ° サレデ イッチャッタンダッテ。
工事現場まで 流されて 行っちゃったんだって。

アソコノ Y 4ノ シタマデ。
あそこの Y 4の 下まで。

129B : オメ アノ サワキ° シンネガッタノ。オレラヨリ トシ トッテンノニ。
お前 あの 騒ぎ 知らなかったの。俺らより 年 とっているのに。

130C : キオグ ネーナ。
記憶 ないな。

131B : サンジューゴネンダヨ。(A キオグ アッテネーダッペ) サンジューゴネン。
35年だよ。(A 記憶 合ってないんだろう) 35年。

(C ワスレチッタダナー)

(C 忘れてしまったんだなー)

132A : デモ アダシラ ガンペギニ。アダシラ ソーイ サワキ° ワ シンナイケレドモ。
でも 私ら 岸壁に。私ら そういう 騒ぎは 知らないけれども。

- 133C : _____ ハマノ ホーサ アマリ イガネーガラ。
 _____ 浜の ほうに あまり 行かないから。
- 134A : テレビデ ホラ サンリクカ° ヤラレタツツノワ シッテタケドレドモ。
 テレビで ほら 三陸が ヤラレタッテいうのは 知っていたけれども。
- 135B : オメラ アレダッペ。モー イッション ナッテダッペ、トーチャンド。
 お前ら あれだろう。もう 一緒に なってただろう、父ちゃんと。
- 136C : サンジューナンネン。
 30 何年。
- 137B : サンジューゴネン。
 35 年。
- 138C : ナッテダ。
 なってた。
- 139B : ナッテダヨナ。ナッテダヨナ、サンジューゴネンナ。ダガラ ソノ
 なってたよな。なってたよな、35 年な。 だから その
- サンジューゴネンノ ゴカ° ツコロダヨ。ワシラ ホラ ガンペギノ
 35 年の 5 月ころだよ。 私ら ほら 岸壁の
- チカグニ イダガラ ウン ソノ サワキ° ワ シッテダダッケドモ。
 近くに いたから うん その 騒ぎは 知ってたんだけど。
- 140C : モットモ オッラ サンジューゴネンツツッテモ ハダライデダ サガリダガラ。
 もっとも 俺ら 35 年っていっても 働いていた 盛りだから。
- 141B : ダケット アサ ハヤガッタヨナ、アレナ。アサ ハエガッタガラ
 だけど 朝 早かったよな、あれな。 朝 早かったから
- シコ° ドニ イガネド、オメ マーダ。(C キオグ ネーナ)
 仕事に 行かないぞ、お前 まーだ。(C 記憶 ないな)
- 142A : チョード フネカ° ハイッテキテ。Y 4 ノ フネカ° ハイッテキテ。
 ちょうど 船が 入ってきて。 Y 4 の 船が 入ってきて。
- マダ ソントギ アンブネ [10] ダッタガラ、ウジデワネ。アンブネ
 まだ そのとき 網船だったから、うちではね。 網船
- ミダガラ アミ アケ° デヤッテ。アノコロ ミンナ モメンノ
 見たから 網 揚げてやって。 あの頃 みんな 木綿の

アミダガラ ミンナ ガンペキサ アケ° デ アミ ホシテ ヤッタネ。デ
網だから みんな 岸壁に 揚げて 網 干して やったね。で

アケ° デル ウジニヨ ドンドンドンドン ドンドンドンドン
揚げてる うちによ どんどんどんどん どんどんどんどん

サカ° ッテッチャッテネ フネカラ アカ° レナグ ナッチャッテ
下がってっちゃってね 船から 上がれなく なっちゃって。

143B : テンカラ ナッチャッタ。
テンカラ [船が底に着いた状態] なっちゃった。

144A : テンカラ ナッチャッタヨ。ダゲド コンドワ ソレ ナガッタッテナ。
テンカラ なっちゃったよ。だけど 今度は それ なかったってな。

注

[1] X 1

X_n (nは整数) は人名を指す。

[2] Y 1

Y_n (nは整数) は屋号を指す。

[3] ヒカ° シコー

この単語は旧波崎町立東小学校を指す。

[4] デ

台の意味。庚申山のとっぺんを指す。

[5] コマツヤマ

この単語は背の低い松林を指す。盛り上がっていない土地であっても平地林であれば「ヤマ」と呼ぶことは茨城県一帯に広く見られる現象である。

[6] シラオ

片口鰯の稚魚を指す。白魚ではない。

[7] テンカラ ナッチャッタ

船の底が川底につくことをテンカラ ナルという。

[8] デノハマ

太平洋岸の砂浜を指す。

[9] アゲショノ クソゴミ ヒロイ

「上げ磯のくそゴミ拾い」は上げ潮で浜に揚がってきた燃料用のゴミを拾うこと。

[10] アンブネ

網船のこと。魚ではなく網を積む船を指す。

3-3 神栖市波崎の談話B（場面設定会話）

話し手

A	女	1939（昭和14）年	（収録時73歳）
B	女	1938（昭和13）年	（収録時74歳）
C	女	1936（昭和11）年	（収録時75歳）

（1）あいさつ：朝、道端で友人に会った時のやりとり

○その1：友人に会った場合

001C：オハヨー。ドゴサ イグノ。
おはよう。どこに 行くの。

002A：オハヨー。アダシ イマガラ タイヨー オカイモノ イグノ。
おはよう。私 今から タイヨー お買いのも 行くの。

003C：ヤスウリ ヤッテンノー。
安売り やってんの一。

004A：ヤスウリネ キョー コーコグ ハイッタデショーヨ。（C ア、ソー）
安売りね 今日 広告 入ってたでしょうよ。（C あ、そう）

タマコ° ヤ。
卵や。

005C：マダ ミナイ。（A _____ タマコ° コンド）。
まだ 見ない。（A _____ 卵 今度）。

006A：ヤスイガラ。（C ア、ソー）イグンダゲドー。
安いから。（C あ、そう）行くんだけどー。

007C：ヤスガッタラ カッテキナ、イッパイ。{笑}
安かったら 買ってきな、いっぱい。{笑}

008A：アサ モー クジニ イガナイド イッパイ ナッチャンダヨ。
朝 もう 9時に 行かないと いっぱい なっちゃうんだよ。

チューシャジョーモ イッパイデネ（C ソーソー ウーン）モー
駐車場も いっぱいだね。（C そうそう うーん）もう

ハイレナイシー。
入れないし。

009C : ヒトリニ ホラ イッコツツーノモ アッテシヨ。ソレガラ
一人に ほら 1個つつうのも あるでしょ。それから

トーチャン ツレデゲバ イーノニ。
父ちゃん 連れてけば いいのに。

010A : イガナイ。
行かない。

011C : イガナイノ。
行かないの。

012A : イガナイ。
行かない。

013C : クビサ ナワ カゲデ ツレデゲバ イーノニネー、ホントニヨー。
首に 縄 かけて 連れてけば いいのにね、本当によ。

014A : ワダシカ° ヨー ムスメノトゴド リョーホー カーガラ サンカイク° ライ。
私がよー 娘のところと 両方 買うから 3回ぐらい。

リポビタンナンカ サンカイク° ライ イグノ。
リポビタンなんか 3回ぐらい 行くの。

015C : タイヘンダネー。
大変だねー。

016A : ソーヤッテ イグケドモ。 _____ チューシャジョーカ° ヨー
そうやって 行くけども。 _____ 駐車がよー

セマインダナー。
狭いんだなー。

017C : セマインダナー ソレワネ。
狭いんだなー それはね。

018A : ニカイワヨ コー グルット マワッテ。ドーシテモ チカイ トゴロカ° ネ
2回はよ こう ぐるっと 回って。 どうしても 近い ところがね

(C そーそー) イーガラド オモッテ。デモ オメラチワ ホラ
(C そうそう) いいからと 思っ。 でも お前らの家は ほら

オドツツァカ° ヨー。
お父さんがよー。

019C : フタリデヨ。
二人でよ。

020A : フタリデ イグガラネ コゴノ。
二人で 行くからね このの。

021C : デモ フタリ フタツ カウ トギニワ モーヒトリノ
でも 二人 二つ 買う ときには もう一人の

ヒトワーツツーガラ ソゴニ イッテショーヨツツーヨ。
人は一つ一つから そこに いるでしょーよ一つよ。

022A : ソンデ ワダシモ ユートギ アルヨ。
それで 私も 言うとき あるよ。

023C : ソバニ イネゲ ダメ。タマコ° ナンカ ソバニ イネゲ ダメ。
側に いなければ だめ。卵なんか 側に いなければ だめ。

024A : ソバニ イナイド ダメ。ダガラ。
側に いないと だめ。だから。

025C : コンダネ ツレデキテ クダサイト。
今度はね 連れてきて くださいと。

026A : タマニ イグトギニ ツレデグド ドゴモ イガネデ
たまに 行くときに 連れてくと どこも 行かないで

タツテロツツ ソレカ° イヤナンダツツガラ。
立ってろっていう それが いやなんだっていうから。

027C : アーソ。
ああそう。

028A : イーダヨツテ イッタラ。 _____
いいんだよって 言ったら。 _____

029C : ヨソノ ヒトコドナ ダンナモナー ユビ サス ワゲニ イガネーシヨ。
余所の 人をな 旦那もなー 指 指す わけに いかないしよ。

(A ダケドネー) _____モヨー ソバニ キテネート ダメダヨ

(A だけどねー) _____もよー 側に 来てないと だめだよ

アレ ソッチニ ハナレデデワツテ ユードヨー _____。
あれ そっちに 離れててはって。 言うときよー _____。

030A : デ イヤカ° シノネ。カイモノワ ホントニ イヤカ° ッテルヨー。
で 嫌がるのね。 買い物は 本当に 嫌がってるよー。

(C ソレワナ _____)

(C それはな _____)

イヤ ウジワ トグベズダド オモウケドヨ。
いや ちは 特別だと 思うけどよ。

031C : クル アシカ° ネゲ ショーカ° ネーガラヨ。アンタラ クルマデ
来る 足が なければ 仕方がないからよ。 あんたら 車で

イゲツカラー。クルマデ イッチャーゲド アダシラ、オメ クルマ ネー。
行けるからー。車で 行っちゃうけど 私ら、お前 車 ない。

032A : デモ ダンナカ° 。
でも 旦那が。

033C : ジデンシャデワ イゲネダッテ、オメー。
自転車では 行けないんだって、お前。

034A : ダンナカ° ー ウンテンシテ イガレツカラ イーゲド。
旦那がー 運転して 行かれるから いいけど。

ウジナンカ モー イゴーッテ イッテモ キナイガラ。
うちなんか もう 行こうって 言っても 来ないから。

035C : イヤ スコシデモ ヤスイノ カウベド オモーガラナー。
いや 少しでも 安いの 買おうと 思うからなー。

オンナラ ソースット、オメ。ソー ヤッテベ
女ら そうすると、お前。そう やっているだろう。

036A : カッテ ヤリダイド オモッテネ。ニゲンブン カウガラ、ワダシワ。
買って やりたいと 思ってね。 2軒分 買うから、わたしは。

037C : ウーン タイヘンダネ。
うーん 大変だね。

○その2 : 改まった人にあつた場合

001A : オハヨーゴザイマス。
おはようございます。

- 002B : オハヨーゴザイマス。
おはようございます。
- 003A : シバラグデスネー。
しばらくですねー。
- 004B : ホントダネー ズイブン コノコ° ロ イギアーネーケットー ナンカ シテル。
本当だねー ずいぶん この頃 会わないけれど 何か してる？
- 005A : ウーン アイカワラズー。
うーん 相変わらずー。
- 006B : ゲンキ。
元気。
- 007A : ウン マー ゲンキワ ゲンキ。ゲンキダケワ トリエッテ ユー カンジダ。
うん まあ 元気は 元気。 元気だけは 取り柄って いう 感じだ。
- 008B : ソンダラ イーネ。コンド マダ ミンヨーダネ。
それなら いいね。今度 また 民謡だね。
- 009A : ネー ウン。
ねー うん。
- 010B : イギマシヨ。{笑}
行きましょう。{笑}
- 011A : ジューゴンチニ。
15 日。
- 012B : ジューゴンチニ。アレカ° アリマス。ナンダツケ。
15 日に。 あれが あります。何だっけ。
- 013A : キモノ キテネー。アツツイノニネー。
着物 着てねー。暑いのにねー。
- 014C : ジューゴンチニ イグノガ、アンタラ。
15 日 行くのか、あんたら。
- 015A : ジューゴンチニネー ホームセンターントゴネー。ウン。
15 日ねー ホームセンターのところねー。うん。
- 016B : フタバ〔1〕 デス。
ふたばです。

017A : フタバサネー。キモノ キテ タイヘンダネー。
ふたばにねー。着物 着て 大変だねー。

018B : キモノ キテ ヤッテキマス。
着物 着て やってきます。

019A : オタカ° イニ。
お互いに。

020B : オタカ° イニ。ガンバッテキマショー。
お互いに。 がんばってきましょう。

021A : フダンノ キモジデネ。
普段の 気持ちでね。

022B : ソーデス。
そうです。

023A : アカ° ンナイヨーニネ。
上がらないようにね。

024B : ソー。
そう。

(2) あいさつ : 昼、道端で友人に会ったときのやりとり

○その1

001A : コンニチワ。
こんにちは。

002C : コンニチワ。
こんにちは。

003A : シバラグダネ。{笑}
しばらくだね。{笑}

004C : アハハ シバラグダネ。ズイブン アーナガッタガ。
あはは しばらくだね。随分 会わなかったか。

005A : ネー。
ねー。

006C : ゲンキダッタ。
元気だった。

007A : アー ソー オタカ° イニネー。ダンナワ。
ああ そう お互いにねー。旦那は。

008C : ダンナ。ダンナ ゲンキデ ハツラツダヨ。{笑} ゲンキ ハツラツ。ネー。
旦那。旦那 元気で はつらつだよ。{笑} 元気 はつらつ。ねー。

009A : ウージモ ソーダヨー。
うちも そうだよー。

010C : アーソーケ。アルッテンノ。(A フタリデネ) マインチ アルッテンノ。
ああそうかい。歩いてるの? (A 二人でね) 毎日 歩いてるの?

011A : マインチ アルッテンノ。アサモ オギデ ゴジハンニ オギダラ
毎日 歩いてるの。朝も 起きて 5時半に 起きたら

スク° モーネー アルギニ イッチャーノ。
すぐ もうねー 歩きに 行っちゃうの。

012B : アラ イーネー。
あら いいねー。

013A : ダイタイ ニジカンク° ライ。
だいたい 2時間ぐらい。

014C : スズシー トギ アルッタホーカ° イーガラ。
涼しい とき 歩いた方が 良いから。

015A : ウン イチジカンク° ライ アルイデー。
うん 1時間ぐらい 歩いてー。

016C : アンマリ アツツイ トギ アルグドー。カラダニ ヨグナイッテ ユーガラ。
あんまり 暑い とき 歩くとー。体に 良くないって 言うから。

017A : ソレカ° ナント アンタ アレダヨー マジノ ケンシン イッテモ
それが なんと あんた あれだよー 町の 検診 行っても

イシャネー アノ マチイシャノ ケンシン イッテモヨー
医者ねー あの 町医者の 検診 行ってもよー

ゼンゼンネ ドゴモ ワリードゴ ナイノヨ。
全然ね どこも 悪いところ ないのよ。

018C : アラララ イーネー。
あららら いいねー。

030A : ジャー
じゃあ。

031C : ジャー マダネ。
じゃあ またね。

032A : ジャー マダ アソビニ イクヨー。
じゃあ また 遊びに 行くよー。

033C : ソノウチネ。_____ハイ ドーモネ。
そのうちね。_____はい どうもね。

034A : サヨナラー。
さよならー。

○その2

001A : コンニチワ。
こんにちは。

002B : アー コンニチワ。(A コノコ° ロ) アツツイケド ゲンキカ。
あー こんにちは。(A この頃) 暑いけど 元気か。

003A : コノコ° ロ ゲンキネ。コノコ° ロ カラオケ キナイケド ドーシター。
この頃 元気ね。この頃 カラオケ 来ないけど どうしたー。

004B : チョット アシカ° イダクテネー。スワッテランネーヨ。
ちょっと 足が 痛くてねー。座ってられないよ。

005A : ヤー ズット ホラ ミナガッタガラー。アレー イナイナード オモッテー。
やー ずっと ほら 見なかったからー。あれー いないなーと 思っー。

ア ソー ゲンキダッタンダー。
あ そう 元気だったんだー。

006B : ゲンキ ゲンキダケット アシ イダクテ アルゲネーナー。
元気 元気だけど 足 痛くて 歩けないなー。

007A : ンジャー コンケ° ズ マダ アルヨネ。
それじゃー 今月 また あるよね。

008B : クジワ ハケ° シーケット アシカ° イダクテ チョットナー。コマッタネー。
口は 激しいけれど 足が 痛くて ちょっとなー。困ったねー。

009A : ジャー マタサ コンケ° ツ マタ アンノデ マタ イキアオーヨ。
ジャー またさ 今月 また あるので また 会おうよ。

010B : ジャー ソノトギデ。
ジャー そのときで。

011A : アダシラノ キット バンカ° マワッテクッカモ ワガンナイヨ。
私らの きっと 番が 回ってくるかも しれないよ。

012B : マワッテキマスカネ。(A ウーン) エー マワッテキタラ ガンバッテ
回ってきますかね。(A うーん) えー 回ってきたら がんばって

ヤンナクッチャナリマセン。
やらなくちゃなりません。

013A : マダ ヤローヨネー。(C {笑} イッパイ アッタッテ) ジャーマダネ。
また やろうよねー。(C {笑} いっぱい あったって) ジャーまたね。

014C : ネグワ ネーズ _____
なくは ないぞ _____

015A : マダネ。
またね。

016B : ジャーネ
じゃあね。

(3) あいさつ : 夕方、道端で友人に会ったときのやりとり

○その1 : あらたまった感じ

001A : コンバンワ。
こんばんは。

002B : ハイ コンバンワ。
はい こんばんは。

003A : ナニ コンナ オソイノニ。
何 こんな 遅いの。

004B : イマ サガナ モライニ イゴード オモッテネ。デンワカ° カガッテ
今 魚 もらいに 行こうと 思ってね。電話が かかって

キタガラ。
きたから。

005A : アンタ ジデンシャ キオ ツケタホーカ° イーヨ。
あんた 自転車 気をつけたほうが いいよ。

006B : デモ ジデンシャデネード アルゲメーヨ。
でも 自転車でないと 歩けないだろうよ。

007A : ウーン マ ソーダケドモ。キオ ツケデ。
うーん ま そうだけでも。気をつけて。

008B : ウン アリカ° トー。
うん ありがとう。

009A : ジデンシャデ コノマエ ホラ ケカ° シテキテ。 _____ネー。
自転車で この前 ほら 怪我 してきて。 _____ねー。

010B : ダイタイコズ オッタラ イジャリニ ナッチャーガラネー。
大腿骨 折ったら いじやりに なっちゃうからねー。

011A : ソーダヨー。ワダシノ アネカ° ソーダガラネー。
そうだよー。私の 姉が そうだからねー。

012B : ダカラ キオ ツケテ ノッテキマス。ジャ イッテクルネ。
だから 気をつけて 乗ってきます。じゃ 行ってくるね。

(C _____)

(C _____)

013A : ジャ。オキオ ツケデ。
じゃ。お気を つけて。

○その2 : 親しい間柄

001A : コンバンワ。
こんばんは。

002C : ドゴ イグノ コンナニ オソグ。アンター。
どこ 行くの こんなに 遅く。あんたー。

003A : アノ チョット キョーワ クルマデナクテー。
あの ちょっと 今日は 車でなくてー。

004C : アルギ。
歩き。

005A : チョット アルギデネー チョット ホラ アノ ウオーキング°
ちよっと 歩きでねー ちよっと ほら あの ウオーキング

ヤローカナド オモッテ。
やろうかなと 思っテ。

006C : アラ スコ° イネー。
あら 凄いなー。

007A : ウジン ナガデ ヤッテッタゲドモ。アルキタンナガッタガラ チョット
うちの 中で やってんだけども。歩き足りなかったから ちよっと

ヤロード オモッテ。(C アー ソーカー) ヤッテッタヨー。
やろうと 思っテ。(C ああ そうかー) やってるんだよー。

008C : イマ ワダシ チョットヨー アネサマド ヨニンヨー イグノニヨー
今 私 ちよっとよー 姉様と 4人よー 行くのによー

ヨルデネーガーツツッテ ヒルマ イゲナイデシヨ。ダガラ ヨル ホラヨー。
夜でないかっていって 昼間 行けないでしょう。だから 夜 ほらよー。

009A : ドー オネーサンノ グアイ。
どう お姉さんの 具合。

010C : ダメダヨ モー。コシ マカ° ッチャッテヨー。ネー ソノウジ
だめだよ もう。腰が 曲がっちゃってよー。 ねー そのうち

カラオケ イコーヨ。
カラオケ 行こうよ。

011A : ソーダネ、マタネ。
そうだね、またね。

012C : タマニワ イガナイゲレ。 _____ ノド ダサナイド ノドガラ コエ
たまには 行かなければ。 _____ 喉 出さないと 喉から 声

ダサナギヤ ダメン ナッチャーガラ。
出さなきゃ だめに なっちゃうから。

013A : ジャーネ。
じゃーね。

014C : ジャーネ。マダネ。
じゃーね。またね。

(4) あいさつ：夜、道端で友人に会った時のやりとり

○その1

001B：Aサーン。ドゴ イグダヨ、ヨルダノニ。

Aさん。 どこ 行くんだよ、夜なのに。

002A：アダシ ヨルー。イマ カイモノ。カイモノニ イグノ。ホリク° チマデ。

私 夜一。今 買い物。 買い物に 行くの。堀口まで。

003B：ホリク° チマデ。

堀口まで。

004A：タンナイ モノカ° アツカラ。

足りない ものが あるから。

005B：ナンダヨ スーパーデ カッテ キネガッタノガ。

何だよ スーパーで 買って 来なかったのか。

006A：イヤ スーパーデ ワスレツチャーノヨ、ソレカ°。

いや スーパーで 忘れちゃうのよ、それが。

007B：ショーネー モンダナ。

仕方ない ものだな。

008A：カナラズモー フタツミツツネー ワスレモノカ° アツカンナ。~~~~~

必ずもー 二つ三つねー 忘れ物が あるからな。~~~~~

009B：ソーカ。ワシワ イマカラ X7ントゴ イツテクツカラ。

そうか。私は 今から X7のところ 行ってくるから。

010C：ナニ モラーンダッテ。

何 もらうんだって。

011B：コーコ モラツテクツカラ。

お新香 もらってくるから。

012A：ウチワ カイモノ ヨッテー ジブンデ ワサビトネ ネ チツチャイ

うちは 買い物 寄って 自分で 山葵とね ね 小さい

モノ ワスレデキツチャーノヨ。

もの 忘れてきちゃうのよ。

013B：ショーネーナ、ホントニ。

仕方がないな、本当に。

014A : ムスメニ イワレデヨ。エー ナニ バーチャンッテ イワレデ。
娘に 言われてよ。えー 何 ばあちゃんって 言われて。

デモ _____ マダ アイデベナ、ミセナ。
でも _____ まだ 開いているだろうな、店な。

015B : アイデル、アイデル。
開いてる、開いてる。

016A : ウーン。
うーん。

017B : ホンジャ キー ツケデ イッテ コ。 (A ジャー オタカ° イニ モー)
それじゃ 気 つけて 行って 来なさい。(A じゃー お互いに もう)

ワシモ キー ツケテ イッテクッカラ。
私も 気 つけて 行ってくるから。

018A : キー ツケデナ。アシモド キオ ツケヨーネー。
気 つけてな。足下 気を つけようねー。

○その2

001A : オシマイナ [2]。
おしまいな。

002B : ハイ オシマイナサイマシ。
はい おしまいなさいまし。

003A : ナニ。ドコ イグ。
何。 どこ 行く。

004B : イマカラ。ドゴ イギマシヨ。 ウオーキング° シテキマシヨ。{笑}
今から。 どこ 行きましょう。ウオーキング° してきましょう。{笑}

005A : ジャ キオ ツケテー。
じゃ 気を つけてー。

006B : ハイ アリカ° ト。
はい ありがとう。

(5) 労い：Aが仕事に精を出すBと会い、Bの労をねぎらう際のやりとり

○その1：洗濯物

001A：コンニチワ。

こんにちは。

002B：ハイ コンチワ。

はい こんにちは。

003A：ア ナニ ヤッテンノー。

あ 何 やってんのー。

004B：イマ センタグモノ ホシテッタヨー。

今 洗濯物 干してるんだよー。

005A：アラー オタグモヨー ネー カゾクモ オーイシナー。

あらー お宅もよー ねー 家族も 多いしなー。

006B：ソーソー。ウン。

そうそう。うん。

007A：ケッコー ネー センタク ホスノモ タイヘンダシー。

結構 ねー 洗濯 干すのも 大変だしー。

センタグ スンノモ タイヘンダヨネー。

洗濯 するのも 大変だよねー。

008B：センタグモ ヨソノ エサデワ カワイッチャウヨ。イマコ° ロダヨ。

洗濯も 余所の 家では 乾いちゃうよ。 今頃だよ。

コナイダ Cサンカ° キテ サガサマニ ホスナッテ

この間 Cさんが 来て 逆さまに 干すなって

みんな ナオサレダヨ。ソーユ コドデスヨ。{笑}

みんな 直されたよ。 そういう ことですよ。{笑}

009C：シニ ヤゲッチャーベッテナ イッテナ。{笑}

日に 焼けちゃうだろうってな 言ってな。{笑}

010A：ホーントニヨ ヒルッテ シコ° ドカ° アルヨナー。

本当によ 昼って 仕事が あるよなー。

011B：アルアル アサカラ バンマデ ホントニ アル。

あるある 朝から 晩まで 本当に ある。

012A : ホーントニヨ一。
本当によ一。

013B : シマナヨ一ダケツト イグラ アツカ ワゲカ° ワガンネ。
暇なようだけど いくら あるか わけが 分からない。

014A : オタグノ オト一サンワ テズダツテ クレツカラ イ一デショ一ヨ。
お宅の お父さんは 手伝って くれるから いいでしょうよ。

015B : ア一 オライノ ジツチワナ一。
あ一 私の家の 爺さんはな一。

016A : ウ一ン。
う一ん。

017C : ジツチダツテヨ、ジツチ。 _____ ジツチ。
「じつち」だってよ、「じつち」 _____ 「じつち」。

018A : ウチノ オジーチャンナンカナ ナニモ テズダーナイ。
うちの おじいちゃんなんか 何も 手伝わない。

(B テツダウヨ) テズダーナイデ モンク イツテネ一。
(B 手伝うよ) 手伝わないで 文句 言ってね一。

019B : テヌク° イワ チャント コ一 ホシテ クレルヨ。
手ぬぐいは ちゃんと こう 干して くれるよ。

020A : ネ一。ソレダケデモ イ一ジャナイ。
ね一。それだけでも いいじゃない。

021B : ソ一ダネ。ウン。
そうだね。うん。

022A : ダンナ ダイジニ。
旦那 大事に。

023B : ダイジニ デギツカナ。モ スコシ トシ トツタラ ド一ナツタカ
大事に できるかな。もう 少し 年 とつたら どうなるんだか

ワガンネケツト センタグモノワ ホシテ モラーベヨ。
わからないけれど 洗濯物は 干して もらおうよ。

024A : ジャ一 マタネ一。
じゃ一 またね一。

025B : マダネ。
またね。

○その2 : みりんさきの仕事をしている場面

001A : コンチワー。 ナンダガ セーカ° デンネ。
こんにちはー。何だか 精が 出るね。

002B : アー セー デル。イマ ウゲドリダガラヨー。イッショケンメ
あー 精 出る。今 受け取りだからよー。一所懸命

ヤンネゲ ナンネダヨー。 ホラ ヒトハゴー イグラダツケヨー。
やらなければ ならないんだよー。ほら 1箱 いくらだっけよー。

003A : キレーニ ヤッテルコダ。ヤッパリ ネンキカ° ハイッテツカラ アレダネ。
綺麗に やってること。やっぱり 年季が 入ってるから あれだね。

004B : ネンキ ハイッテルヨ。ナンネン ヤッテルダヨ、コンナノヨー。
年季 入ってるよ。何年 やってるんだよ、こんなのよー。

005A : ウーン ジョーズダネー。
うーん 上手だねー。

006B : アシタ ホスタガラ、コレオネ。 イッピギイッピギ。
明日 干すんだから、これをね。 1匹1匹。

007A : アダシラナンカ コレカ° コー サグノカ° デギナイ。
私らなんか これが こう 割くのが できない。

008B : オメラ サグノカ° デギネーガッペ。(A デギネーダ) ワシラデネゲ
お前ら 割くのが できないだろう。(A できないんだ) 私らでなければ

コレワ デキネーダ。
これは できないんだ。

009A : ワシラワ ニボシタギドー。
私らは 煮干し炊きとー。

010B : ニボシタギガ。ヨッサヤッサ。ワシラワ コレダ。イガー ホラ。
煮干し炊きか。よっさやっさ。私らは これだ。いいか ほら。

キョーワヨ チョード ヨンヨンニヨ。イー サグライワシダッペ。
今日はよ ちょうど 四四によ。 良い 桜鯛だろう。

(A アラ イー イワシデネ)
(A あら 良い 鯛じゃない[こと])

ホラ イー イワシダッペ。ホラ イギカ° イクテナ。ダケット
ほら 良い 鯛だろう。 ほら 活きが 良くてな。だけど

アンマリ イギカ° イード ホネカ° トレネーダヨナ。
あまり 活きが 良いと 骨が とれないんだよな。

011A : ソーダ ホネカ° トレネクテネ。コノ コゴカ° イダグナル。
そうだ 骨が とれなくてね。この ところが 痛くなる。

ツメカ° イダグ ナルゲドネ。
爪が 痛く なるけどね。

012B : オメ トゴロデ コエ カゲデ ドゴ イグダヨ。
お前 ところで 声 かけて どこ 行くんだよ。

013A : アー アダシワ チョット ジッカノホーサ イッテコヨード オモッテ。
あー 私は ちょっと 実家のほうに 行ってこようと思っテ。

014B : ワシワ イマ イソカ° シーガラ。
私は 今 忙しいから。

015A : アンタノ カオカ° ミエダガラ。
あんたの 顔が 見えたから。

016B : ソーガソーガソーガ。ハヤグ イッテコーヨ。イマ イッショケンメ
そうかそうかそうか。早く 行ってこいよ。今 一生懸命

ヤッテッタガラ。
やっているんだから。

017C : ナガサ ヘッテッチャー。
中に 入って行っては。

018A : アラ イダノ ヤッテンナド オモッテ (B ヤッテルヨ) ミセデモラオド
あら いたの やってるなど 思っテ (B やってるよ) 見せてもらおうと

オモッテ。アラアラ。
思っテ。あらあら。

019B : キョーワ ヨンヨン [3] ダガラ。
今日は 四四だから。

020A : キレー キレーダコドネー。
綺麗 綺麗なことねー。

021B : ヨンヨンデ アシタ ココサ ホスダガラ ダガラ ヨーグ ナラベネゲレバー
四四で 明日 ここに 干すんだから だから よく 並べなければー
シッポガラ ツカメネガラナ。
尻尾から 掴めないからな。

022A : ジャー オカセキ° ナ。
じゃー おかせぎな。

023B : ハイ アリカ° トヨ。
はい ありがとうよ。

024A : ジャーネー。
じゃーねー。

(6) 勧め: Bが、仕事をしているAに、「少し休んでお茶とお菓子でも食べなさい」と勧める際のやりとり。

001B : Aサン、イズマデ ヤッテッター。 モー ソレデ テー ハナセヨ。
Aさん、いつまで やってるんだー。もう それで 手ー 放せよ。

002A : ナンデ ダッテー オメラガラ ミット アダシナンカ チョットー
何で だっテー お前らから 見ると 私なんか ちよっとー
チョットー オグレデッタヨー。ダガラー。スコシー ヤロード オモッテー。
ちよっとー 遅れてるんだよー。だからー。少しー やろうと 思っテー。

003B : イーヨ ソレワ アドニ シテ ノム トキニワ ノメヨー。
いいよ それは 後に して 飲む ときには 飲めよー。

004A : ンー ダゲドモ ミンナニ オッツイデ イゲナイガラー。スコシー。
んー けども みんなに 追いついて 行けないからー。少しー。

005C : オッラ ノミズレーガンベヨナーッテナー。
俺ら 飲みづらいだろうよなーってなー。

006B : ソー。
そう。

007A : ビッコ サギ カセーデル [4] ワ。
ちよっとはやめに稼いでいるわ。

008B : ビッコ サギ カセカ° ナクテモ イーガラ ヤメロヨー。
ちょっとはやめに稼がなくても いいから 止めろよー。

ノミズレガッペ、オレラカ° ヨー。モー ヤメデコーヨ。
飲みづらিদらう、俺らがよー。 もう 止めてこいよ。

009A : アーソーカー ジャー ジャー チョット チョット ソー スッカー。
ああそうかー じゃー じゃー ちょっと ちょっと そう するかー。

010B : ソーシロヨ。
そうしろよ。

011A : ビッコ サギ カセク° ガナド オモッテダンダゲドモ。
ちょっとはやめに稼ぐかなと 思ってたんだけども。

012B : ソレワ ダメダメ。ミンナカ° ヤスムトキワ ヤスメヨ。
それは だめだめ。みんなが 休むときは 休めよ。

013A : ハイ。ジャ ジャー ヤスムワ。
はい。じゃ じゃー 休むわ。

014B : ヤスメ。
休め。

(7) 訪問時の声掛け：昼間、AがC宅を訪れるときの声かけと、Cの返事。

○その1：訪問者A、C宅にて

001A : コンニチワー。
こんにちはー。

002C : ハイ。ナンダ、キョー、アンター。
はい。何だ、今日、あんたー。

003A : ナニ、ナニ ヤッテンノー。
何、何 やってるのー。

004C : ナニモ ヤッテネー。イマ ゴハンノ シタクダ。ヒルマノ アンチャンラ
何も やってない。今 ご飯の 支度だ。 昼間の 息子達

ビッコ ビッコ カセキ° デモッテ ハヤグ ヤットガネゲ
× ちょっとはやめの稼ぎでもって 早く やっておかなければ

マニアワネーガラヨー。ソレカ° ゴハンノ オガズ。ドゴサ キタダ、オメー。
間に合わないからよ。それが ゴハンノ おかず。どこに 来たんだ、お前。

005A : アノ ヒヨー チョット オメラサ ヨージカ° アッテ キタダヨー。
あの 日よー ちょっと お前らに 用事が あって 来たんだよー。

(C アー ソー) イズモノ ツキカ° ゲ モライニ キタンダケドモ。
(C アー ソー) いつもの 月掛け もらいに 来たんだけども。

006C : ア ソー。
あ そう。

007A : ウーン。
うーん。

008C : ジャ ハイ コレ イクラ。ゴセンエンネ。ハイヨ。ジャ コレネ
じゃ はい これ いくら。5000 円ね。 はいよ。じゃ これね

オネカ° イシマス。
お願いします。

009A : ジャ ジャ マタネ。
じゃ じゃ またね。

010C : オネカ° イシマスネー。
お願いしますねー。

011A : ハイ ドーモー。
はい どうも。

○その2 : 訪問者B、C宅にて

001B : オハヨー。イダガ、Cサン。
おはよう。いるか、Cさん。

002C : イダドー。ナンダー。
いたぞー。何だー。

003B : _____ ツキカ° ゲ タデゲーデアッカラ トンニ キタ。
_____ 月掛け 立て替えてあるから とりに 来た。

004C : アラ。オラ ジェニ ネーガラ ハラエネー。_____ダシトイデクレー。
あら。俺は 銭 ないから 払えない。_____出しておいてくれ。

005B : ソラ コマッターナー。(C ショーネーナー。ウーン) ダシトグケツトモヨ。
それは 困ったナー。(C 仕方がないなー。うーん) 出しとくけれどもよ。

006C : イマ コマコイノ ネー。アドデ ハラーワ。
今 細かいの ない。後で 払うわ。

007B : ジャ デギダラ モッテコー。
じゃ できたら 持ってこい。

008C : ワルイネー、スイマセン。ハイ。
悪いねー、すみません。はい。

009B : ジャ マ X8 サントゴサ オイテクツカンナ。
じゃ ま X8 さんのところに 置いてくるからな。

010C : オネカ° イシマース。
お願いしまーす。

011B : ワガッタ。ウン ジャ イッテクツカンナ。
わかった。うん じゃ 行ってくるからな。

012C : ハイヨー。
はいよー。

(7) 借用の依頼と受諾 : AがBに熊手を借りるときのやりとり。(Bが貸す場合。)

001A : イダー。
いる？

002B : イダドー。ナンダ。
いたぞー。何だ。

003A : イマ ソゴノ ゴミステバノ トゴロオー。ナンカネー スコ° ク
今 そのの ゴミ捨て場の ところをー。何かねー 凄く

ゴミカ° タマツチャッテテー。クマデ チョット カシテクンネガー。
ゴミが 溜まっちゃっててー。熊手 ちょっと 貸してくれないかー。

004B : シャコニ アッカラ モッテゲヨー。
車庫に あるから 持って行けよー。

005A : ンジャー チョット カリダアド アレモ タノムワー。アノー。
んじゃー ちょっと 借りた後 あれも 頼むわー。あの一。

(C クサカリー) クサカリー。

(C 草刈りー) 草刈りー。

006B : クサカリー。カマー。
草刈りー。鎌ー。

007A : カマー、チョット。
鎌ー、ちょっと。

008B : カマモ ソゴニ シッカガッテツカラ モッテゲ。
鎌も そこに 引っかかっているから 持って行け。

009A : ヨースルニ クサカリカ° マドー クマデ カリデー チョット アノ
要するに 草刈り鎌とー 熊手 借りてー ちょっと あの

ゴミステバノ _____ アンタ テツダーネーガ。
ゴミ捨て場の _____ あんた 手伝わないか。

010B : アツツイガラ イガネ。
暑いから 行かない。

011A : アツツイガラ イガネーツテ。アー オレ ヒトリデ ヤンノガー。
暑いから 行かないって。あー 俺 一人で やるのかー。

012B : ソーソー。
そうそう。

013A : オレ ヒトリデ ヤンノー。ジャー ヤツテクレバ イーヤー。
俺 一人で やるのー。じゃー やってくれば いいやー。

014B : ヤツテクレバイー。フグロモ ダシテヤツカラ。
やってくればいい。袋も 出してやるから。

015A : ジャー チョット カリトグネ。
じゃー ちょっと 借りておくね。

016B : シャコニ アツカラ モッテッテー。
車庫に あるから 持って行ってー。

017A : アー ンジャ カリデグー。
あー それじゃ 借りていく。

(8) お礼 : Aが借りた熊手をBに返しに行ったときのやりとり。

001A : イダー。
いる？

- 002B : イダヨー。
いたよー。
- 003A : ヤット オワッタヨー。
やっと 終わったよー。
- 004B : アー ゴグローサマヨー。
あー ご苦労さまよー。
- 005A : チョットー ミデ クンネ、ゴミステバノトゴ キレーニ ナッター。
ちよっと 見て くない、ゴミ捨て場のところ 綺麗に なったー。
- 006B : トーッタラ ミニ イグヨ。
通ったら 見に 行くよ
- 007A : オガケ° サマデ。
おかげさまで。
- 008B : アラアラ ゴグローサマデシタヨ。
あらあら ごくろうさまでしたよ。
- 009A : キレーニ ナッタノデネ。クマデド アノー カマネ カエシトグガラ。
綺麗に なったのでね。熊手と あのー 鎌ね 返しておくから。
- 010B : シャゴサ ナケ° ドイテ クレロバ イーヨ。
車庫に 投げといて くれれば いいよ。
- 011A : オドッツアンニ マダ キレーニ ミカ° イドイデ モラッテー。
お父さんに また 綺麗に 磨いておいて もらってー。
- 012B : ワガッター。ウン。
わかったー。うん。
- 013A : ジャーネー。
じゃーねー。
- 014B : ゴグロサンネー。
ご苦労さんねー。
- 015A : アドデ キレー ナッタトゴ ミデ。
後で 綺麗に なったところ 見て。
- 016B : ミールミル。トーッタトギ ミツカラヨ。
見ーる見る。通ったとき 見るからよ。

017A : ウーン ンジャネ。
うーん それじゃね。

018B : ゴグロサマネ。
ご苦労様。

019A : ハーイヨ。ジャーネ。
はいよ。 じゃーね。

(9) 破損の謝罪・許容・不満 : AがBに借りた熊手を壊してしまい、謝るときのやりと
り。

(9-1) Bが構わないという場合。

001A : ヨー ワリネー。
よー 悪いねー。

002B : ナンダヤー。
何だやー。

003A : カリダ クマデヨー ハカ° カゲッチャッタんだワ、ニホンバシー。
借りた 熊手よー 歯が 欠けちゃったんだわ、2本ばかり。

004B : アー イーヨ イーヨ、カゲデモ。ソレ アドデ ジーサンニ ナオシトイデ
あー いいよ いいよ、欠けても。それ 後で じいさんに 直しておいて

モラーガラ イーヨー。
もらうから いいよー。

005A : ジーサンニ ナオシテ モラッテー。
じいさんに 直して もらってー。

006B : イーヨ。ソンナノ キニ シンナヨ。
いいよ。そんなの 気に するなよ。

007A : ワリーネー。ウーン。チョットネー クサカ° イッパイ ハエデダガラー
悪いねー。 うーん。ちよっとねー 草が いっぱい 生えてたからー

ソゴエ ヤッチャッタノデー。
そこえ やっちゃったのでー。

008B : ダイジョブダヨ。
大丈夫だよ。

009A : ジャ ワルイケドサ コノママ オイデッチャーガラー。
じゃ 悪いけどさ このまま 置いて行っちゃうからー。

010B : オイデテモ イーヨ。ソナノ キニ シナイゴド。
置いてても いいよ。そんなの 気に しないこと。

011A : ンジャー タノムネー。
それじゃー 頼むねー。

012B : ハイヨー ゴグローサン。
はいよー ご苦労さん。

013A : ハーイ ドーモ。
はいー どうも。

(9-2) Aが破損に対して不満を述べる場合(破損したのが熊手ではなく自動車の場合)

001A : コナイダヨー チョットナー クルマオ チョット ツッカゲチャッタケレドモー。
この間よー ちょっとなー 車を ちょっと ぶつけちゃったけれどもー。

ゴメンネー。
ごめんねー。

002C : ハー ゴメンデナイベヨ。 アンダモヨー ウシロノ ウジノ オドーサンカ°
はー ごめんでないだろうよ。あんたもよー 後ろの うちの お父さんが

デダダガラー デデ チョット ワスレモノ ショード オモッテ
出たんだからー 出て ちょっと わすれもの しようと 思って

ウジノ オドーサン バックシタンダゲドモー アンタカ°
うちの お父さん バックしたんだけどもー あんたが

チョット ホラ デデキチャッタガラ アノ ポーッポッテ
ちょっと ほら 出てきちゃったから あの ぽーっぽって

ナラシテ クレロバー ウジノ オドーサン パット
鳴らして くれればー うちの お父さん ぱっと

トマッタケレドモー ナラサナガッタガラ ウジノ
停まったけれどもー 鳴らさなかったから うちの

オドーサンモ ボゴッテ ブツケチャッタダヨ。
お父さんも ぼこって ぶつけちゃったんだよ。

003A : ワダシモネー シュンカンテギニ ナラソード オモッタダケドモー
私もねー 瞬間的に 鳴らそうと 思ったんだけどもー

ナラナイデヨー。
鳴らないでよー。

004C : アンタ プブ ナガッタノー。
あんた ぶぶ なかったのー。

005A : プブ アッテモネー。
ぶぶ あってもねー。

006C : ピピピピッテ ヤレバ。
びびびびって やれば。

007A : トッサカ° ネ トッサカ° キガナイダヨー。 ネ。 ソシテー。ソシタラネ。
咄嗟がね 咄嗟が 効かないんだよー。ね。 そしてー。そしたらね。

008C : サガダガラ、コゴネ。
坂だから、ここね。

009A : _____ イッチャッタダゲドモー。
_____ 行っちゃったんだけどもー。

010C : ウジノ オドサンカ° ヨ アレ ナンダヨ オメヨーッテ イッタゲドモー
うちの お父さんがよ あれ 何だよ お前よーって 言ったけどもー

ソラ ショーネーモン ヤッチャッタガラッテ コンダー イッタラバ
それは 仕方がないもの やっちゃったからって 今度は 言ったらば

アノー ナオシテ ナオスヨーニ オダグドゴデ ナオシテクレッテ
あのー 直して 直すように お宅のところで 直してくれって

クルマヤサ イッテコイツツタッケー アノー コンド
車屋に 行ってこいって言ったっけー あのー 今度

モゴードモッテ タイキン カガッカラー アンタ カガルヨーナコド
向こうでもって 大金 かかるからー あんた かかるようなこと

イッテダガラー ホンデ ホケンデ ナオシマショッテー ソノ
言ってたからー それで 保険で 直しましょうってー その

ハナシアイニ ナッタダケドモー。
話し合いに なったけどもー。

011A : ホケンデ。
保険で。

012C : ンー。ナオシテ クダサイ。スイマセン。オネカ° イ シマス。
んー。直して ください。すみません。お願いします。

ヤッタホーモ ワリーダガラネ。アンタカ° ポット ナラセバ
やった方も 悪いんだからね。あんたが ぼっと 鳴らせば

ヨガッタヨッテ、ワダシ コンド オゴッチャーダガラネ。
良かったよって、私 今度 怒っちゃうんだからね。

(11) 誘いと断り : BがAを近くの天童よしみのコンサートに誘う際のやりとり。(Aが断る場合。断る理由は、家族と外出の先約。)

○その1 : すでにチケットを買ってある場合

001B : Aサン。クカ° ズノ ニジュークンチニ テンドーヨシミ ホラ
Aさん。9月の 29日に 天童よしみ ほら

カッテアッパー。アレ オメ ドーシッター。イグノガ イガネノガー。
買ってあるだろう。あれ お前 どうするんだー。行くのか 行かないのか。

002A : アレー ワダシモ イゴード オモッテ カッタンダケドモー ヒトドネー
あれー 私も 行こうと 思って 買ったんだけどもー 人とねー

リョコー リョコーカ° ネー ニジューク サンジュート リョコーカ° ネ
旅行 旅行がねー 29 30と 旅行がね

イッパグフツカデ。ダガラー シュッセギ デギナクナッチャッタダヨー。
一泊二日。 だからー 出席 できなくなっちゃったんだよー。

003B : アレヤー ダレニ ヤッタ、ソレー。
あれやー 誰に やった、それー。

004A : _____ トモダチニ ヤローカナート オモッテー。
_____ 友達に やろうかなーと 思ってー。

ダガラ アンタラ イッテー。
だから あんたら 行ってー。

005B : ジャー、ワダシドー。
じゃー、私とー。

006A : ジャー アダシ マダナイデー イッテチョーダイ。
じゃー 私 待たないでー 行ってちょうだい。

007B : イッテクッカラー。
行ってくるからー。

008A : ワダシワ リョコー イッテクッカラー。
私は 旅行 行ってくるからー。

009B : アー ソーカ。ドーズ イッテラッシャイ。
あー そうか。どうぞ 行ってらっしゃい。

010A : オミヤケ° カッテクッカンネ。ウーン。ジャ ソーユーコトデ。
お土産 買ってくるからね。うーん。じゃ そういうことで。

011B : ミヤゲバナシ マッテッカラヨ。ワシワ アノ イッテクッカラ、テンドーヨシミ。
土産話[を] 待っているからよ。私は アノ 行ってくるから、天童よしみ。

012A : テンドーヨシミ キガセテ。
天童よしみ 聴かせて。

013B : ウダッテ ヤッカラ、アドデ。
歌って やるから、後で。

○その2 : これからチケットを買う場合

001B : Aサン。テンドーヨシミカ° クッタケットモー オメ ドースルー。
Aさん。天童よしみが 来るんだけどー お前 どうするー。

アノー ケン カーガ。
あのー 券 買うか。

002A : イズダ。
いつだ。

003B : ウーン。コンケ° ズノ ニジュークンチダワ。
うーん。今月の 29日だわ。

004A : アー チョットー アソノジジョデ (?) デナインダヨナー。
あー ちよっとー ~~~~~

005B : アー ソッテワ ショーネーナー。
あー それでは 仕方ないなー。

006A : ウーン。チョットー。ウーン。
うーん。ちよっと。うーん。

007B : ジャー オメワ カーネガ。
じゃー お前は 買わないか。

008A : ダガラー。コンカイワ ショーナイカラー。ツキ° ノドギー
だからー。今回は 仕方ないからー。 次のときー

ミズモリカオリ キタラー ソンドギ イゴーカー。
水森かおり 来たらー そのとき 行こうかー。

009B : ソーカ シタラ カーナイワ。ウン コンドワ ワシラダゲデ
そうか そうしたら 買わないわ。うん 今度は 私らだけで

カッテクツカラ。
買ってくるから。

010A : ウーン コンカイワ Cサンド イッシュヨニ イッテー。
うーん 今回は Cさんと 一緒に 行ってー。

011B : ソー ウン ワガッター。
そう うん わかったー。

012A : ワリーネー。マダ イッシュヨニ シテネー。
悪いねー。また 一緒に してねー。

013B : ソーダナ。
そうだな。

(1 2) お見舞い：体調を崩しているBに、Aが体の調子を尋ねる際のやりとり。
(12-1) Bの調子がいい場合。

001A : ミニキタドー。
見に来たぞー。

002B : アラー アリカ° トヨー。ゲンキダヨー。
あらー ありがとうよー。元気だよー。

003A : ドーシター。
どうしたー。

004B : ウーン。ダンダン ヨグナッテキタヨー。モースコシデ タイイン デギルヨー。
うーん。だんだん 良くなってきたよー。もう少しで 退院 できるよー。

005A : スコシヨー カラダネ キオ ツケデヨー。
少しよー 体ね 気を つけてよー。

006B : ソーダナー。
そうだなー。

007A : ドノク° ライ カガッター。
どのぐらい かかったー。

008B : イッカケ° ズクレーガナー。ダケット モー スコシデ タイイン デギル
1ヶ月くらいかなー。 だけど もう 少しで 退院 できる

ハナシダガラー。ウン。トンダ シンパイ カゲチャッターナー。
話だからー。 うん。とんだ 心配 かけちゃったなー。

009A : アー デモヨー イナイト サビシーヨ。
あー でもよー いないと 寂しいよ。

010B : ソーガー。
そうかー。

011A : イツモ イキアッテルナー イナイガラ。デ キョーフ ミナデ
いつも 会ってるなー いないから。で 今日は みなで

キタンダケドモー。
来たんだけどもー。

012B : コゴデ オチャ ノンデゲヨ。
ここで お茶 飲んで行けよ。

013A : ンジャ オチャ ヨバレデクッカー。
それじゃ お茶 呼ばれてくるかー。

014B : Cサン オチャ クンデキテクレー。
Cさん お茶 汲んできてくれー。

015C : ア イーヨ。
あ いいよ。

(12-2) Bの調子が悪い場合。

001A : ナンダ チョーシカ° ワルソーダケド アレガ。(C グエワリガーッテ)
何だ 調子が 悪そうだけど あれか。(C 具合悪いかって)

グエ ワリーガー。
具合 悪いかー。

002B : アンマリ キョーワナー。チット アシカ° イデーナー。
あんまり 今日はなー。ちょっと 足が 痛いなー。

003A : ンジャ キョーワ テンキカ° ワリガラ アレジャナイガー。
それじゃ 今日は 天気が 悪いから あれじゃないかー。

004B : コー ナット テンキ ミンノガナー。
こう なんと 天気 見るのがなー。

005A : テンキ ミッタヨ。 テーキアズ クルトギニワー イダムヨーニ
天気 見るんだよ。低気圧 来るときにはー 痛むよーに

ナルッテ ユーガラ。ソーユトギニワヨー ソット
なるって いうから。そういうときにはよー そっと

シテダホーカ° イーヨ。
してた方が いいよ。

006B : ソーダナー。ソット シテベヤ。
そうだなー。そっと していようや。

007A : ンジャー アダシラモ キョーワ ソノマンマ カエツカラヨ。アンタモ
それじゃー 私らも 今日は そのまま 帰るからよ。 あんたも

キオ ツケデナ。
気を つけてな。

008B : ジャ キョー ケーッテクレ。ダメダヨ、キョーワ。
じゃ 今日 帰ってくれ。だめだよ、今日は。

アシ イダクテ ハナシニモ ナンネーヤ。
足 痛くて 話しにも ならないや。

009A : ジャー マダー ゲンキノ イートギニ クツカラー。
じゃー またー 元気の いいときに 来るからー。

010B : マッテツカラヨ。
待ってるからよ。

011A : キオ ツケデナ。
気を つけてな。

012B : マッテッカンネ。アリカ° ドヨ。
待ってるからね。ありがとうよ。

(13) 申し出 : 体の調子が悪く、家の片付けもできないというBに、Cが「(私が) 片付けてやろう」というときのやりとり。

001C : Bサーン。
Bさーん。

002B : ハーイ。
はい。

003C : チョーシ イーガー。
ちょうし いいかー。

004B : チョーシ ワリー。キョーワ イマ ネドゴデ ネダリ オギダリ シテルヨ。
調子 悪い。今日は 今 寝床で 寝たり 起きたり してるよ。

005C : ホントー。ナンカ アッタラ ワダシ テツダウドー。
本当。何か あったら 私 手伝うぞー。

006B : アノヨー センタッキン ナガニヨー センタグモノカ° アッタヨナー。
あのよー 洗濯機の 中によー 洗濯物が あったよなー。

007C : アルノー。アッタ。ソラ ホラ ホシテヤルヨー。ジーチャンモ イッケドモー。
あるのー。あった。それは ほら 干してやるよー。じいちゃんも いるけどもー。

008B : ホシテクンネガー。
干してくれないかー。

009C : ジーチャンモ イッケド オレ ホシテヤルヨナー。
じいちゃんも いるけど 俺 干してやるよなー。

010B : オメノホーカ° テバヤイガラ ホシテクレヨ。
お前のほうが 手早いから 干してくれよ。

011C : ソーガ ウーン。
そうか うーん。

012B : カコ° ワ ソゴノ カダスミニ アッカラー。(C ウーン アー イーヨ)
籠は そのの 片隅に あるからー。(C うーん あー いいよ)

ホシテクレヨー。
干してくれよー。

013C : ウーン ワガッタ ワガッター。ジャ ホシテグドー。イーガー。
うーん わかった わかったー。じゃ 干してくぞー。いいかー。

014B : ウーン ホシテクレーナ。
うーん 干してくれーな。

015C : デージニ シテネー。
大事に してねー。

016B : アリカ° トヨー。
ありがとうよー。

(14) 禁止 : 片付けの最中に、大事な写真をCが間違っ
て捨てようとしているときに、
Bがそれを制止してどのようにいうか。

○その1

001C : Bサーン。アンタ センタグ ホシタケドモー ウジン ナガモ
Bさーん。あんた 洗濯 干したけどもー うちの 中も

カダズゲッカー、スコシ。
片付けるかー、少し。

002B : _____ アッタラヨー。
_____ あったらよー。

003C : オメ キニ クワ キニ クワナクッテモ、アダシカ° ヤッテンノヨー。
お前 × × 気に くわなくても、私が やってるのよー。

デモ ワダシカ° カダズゲデヤルヨー。
でも 私が 片付けてやるよー。

004B : オーキナ オセワダケッド カダズゲデクレッカー。
大きな お世話だけど 片付けてくれるかー。

005C : ウーン ヤルヨー。
うーん やるよー。

006B : シタラ アノ ソノ トゴノマノトゴニナー テンドーヨシミノ
そうしたら あの その 床の間のところになー 天童よしみの

ケンカ° アッカラー ソレー チョット カダズゲドイデクンネガー。
券が あるからー それー ちょっと 片付けといてくれないかー。

007C : ドゴサ カダズゲツペ。オメカ[°] モツテレバ イーノ。
どこに 片付けよう。 お前が 持っていれば いいの。

フトンノ シタサ オイドゲバ イーノニ。
布団の 下に 置いとけば いいのに。

008B : ワスレツチャッタラ ショーネーカラ。
忘れちゃったら 仕方ないから。

009C : ネデル ヒトノ シタサ オイドゲバー。
寝てる 人の 下に 置いとけばー。

010B : ネデル ヒトワ _____テワ ショーネーガラヨー。
寝てる 人は _____てわ 仕方ないからよー。

011C : テンドーヨシミ カーイソーダガラガー。
天童よしみ かわいそうだからかー。

012B : カワイソーデワ ネーケットモヨー。ワガンナグ ナッチャーベヨー。
かわいそうでは ないけれどもよー。分からなく なっちゃうだろうよー。

~~~~~°

~~~~~°

013C : マチカ[°] ッテ ステヨートシテ。
間違っ て 捨てようとして。

○その2

001C : コレ ステチャッテ イーノー。
これ 捨てちゃって いいのー。

002B : ダメ。ナンデ ソレヨー ホラ ヤクバガラ キタヤズダノニヨー。
だめ。何だい それよー ほら 役場から 来たやつなのによー。

ソレ デージナ モンダツペ。イマヨー オギランネガラ ソレ イマ
それ 大事な ものだろう。今よー 起きられないから それ いま

ソゴサ オイデ アッタノニナ テカ[°] マシーコード シッタヨー。
そこに 置いて あったのにな 余計なこと したよー。

003C : アレアレ。チョード イーヤ。ハハハハハハハ。チョード アッタ。
あれあれ。ちょうど いいや。ははははははは。ちょうど あった。

コレ コゴ ベズニ カタズゲドグドッテ。チカ° ウノ ホラ マダ
これ ここ 別に 片付けとくぞって。 違うの ほら また

ウン キレーニ ハイッチャーガラナ。ソゴラ マーリヨ。
うん 綺麗に 入っちゃうからな。 そこら まわりよ。

004B : アト マーリ ハイトイデクレヨ。
あと まわり 掃いといてくれよ。

005C : キレーニネ、ウン。
綺麗にね、うん。

006B : ソレワ ステダラ ダメ。
それは 捨てたら だめ。

007C : ア ソーカ。ジャ ステナイ。
あ そうか。じゃ 捨てない。

008B : テカ° マシーコード シタラ ダメ。
余計なこと したら だめ。

注

[1] フタバ

銚子市にある介護施設。

[2] オシマイナ

暗くなりかけの頃（ケシク° レ）に使う。真っ暗になったらコンバンワ。

[3] ヨンヨン

鰯を干して並べる方法の一種。

[4] ビッコ サギ カセク°

他の人よりも早めに仕事を始めること。